

第2次春日井市生涯学習推進計画 令和2年度進捗状況報告書

令和3年8月

春日井市文化スポーツ部文化・生涯学習課

目 次

第2次生涯学習推進計画の概要	1
計画策定の目的	2
基本理念	2
基本目標	3
施策の体系	4
令和2年度 推進計画進捗状況	10
基本目標1 学びにつながるきっかけづくり	13
施策1-1 生涯学習に関する情報提供の充実	13
施策1-2 学習活動の多様なきっかけの提供	15
基本目標2 多様なニーズに応じた学ぶ機会の充実	18
施策2-1 ライフステージに応じた学習機会の充実	18
施策2-2 現代的・社会的課題やニーズに対応した学習機会の充実	27
施策2-3 生涯スポーツの振興	36
施策2-4 文化芸術の振興	40
基本目標3 学んだ成果を生かせる仕組みづくり	45
施策3-1 地域の担い手となる人材の発掘及び育成	45
施策3-2 学習成果を生かす機会の充実	48
施策3-3 学習成果を生かしたまちづくりの推進	50
基本目標4 学びを豊かにする環境づくり	53
施策4-1 身近な生涯学習関連施設の充実	53
施策4-2 自主的な学習活動への支援	57
施策4-3 関係機関とのネットワークの構築	60
◆推進計画全体（計画期間3年目）の評価	63

第2次生涯学習推進計画の概要

計画策定の目的

生涯学習を通じた暮らしやすいまちを目指し、文化及び生涯スポーツの更なる振興、これまで生涯学習に取り組んでこなかった層に対する働きかけの強化、計画の進行管理及び着実な実行を推進するための数値目標の設定を盛り込み、本市における生涯学習を推進するための指針となる計画として「第2次春日井市生涯学習推進計画」を策定しました。

基本理念

市民一人ひとりが心豊かな生活を送るためには、学びを通じて一人ひとりの潜在能力を最大限伸ばすとともに、学習活動を通じた地域活動の推進、現代的・社会的な課題に対応した学習などの推進を図っていく必要があります。これを踏まえ、本計画の基本理念を次のとおりとします。

『一人ひとりの学びが地域の絆と

未来を創り出すまちづくり』

基本目標

基本理念である「一人ひとりの学びが地域の絆と未来を創り出すまちづくり」を実現するため、4つの基本目標を次のとおり定め、総合的な取組を推進します。

(1) 学びにつながるきっかけづくり

学習活動の実践へとつながるよう、さまざまな機会・手法を活用して情報を発信し、学習のきっかけづくりにつなげます。

(2) 多様なニーズに応じた学ぶ機会の充実

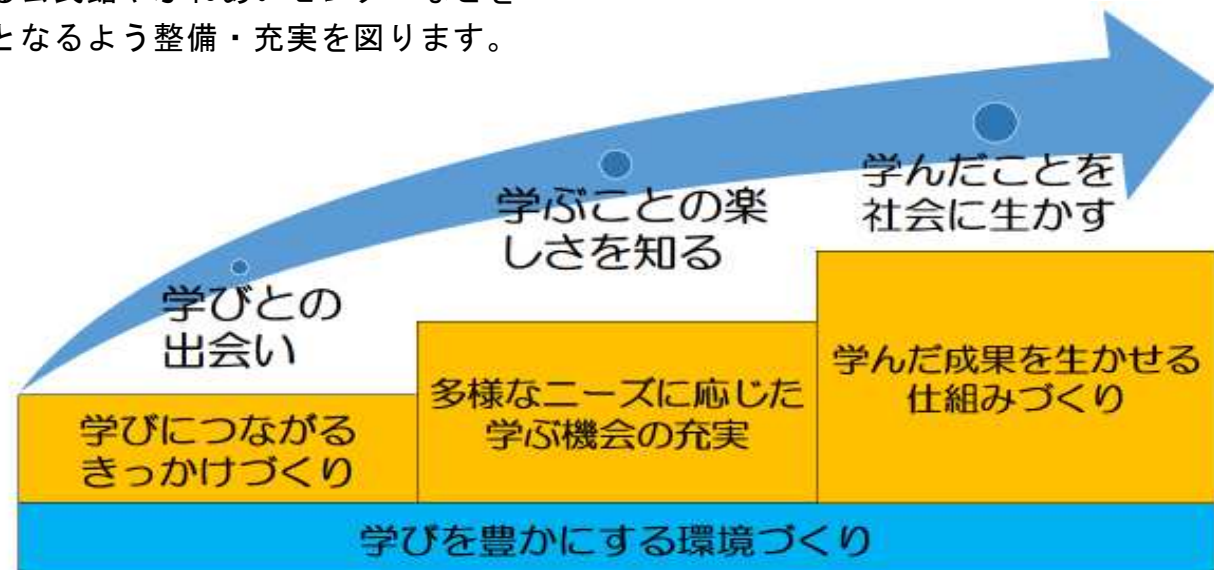
市民ニーズに応じた多様な分野の学習機会を設け、だれもが、いつでも、学ぶことができるよう充実を図ります。

(3) 学んだ成果を生かせる仕組みづくり

市民が学習を通じて身につけた知識・技能などの成果をまちづくりに生かすため、学習成果を発表する機会の確保や、学習成果を地域で広く生かせるよう支援します。

(4) 学びを豊かにする環境づくり

市民の身近な学習や活動の場である公民館やふれあいセンターなどを市民にとって利用しやすい学習施設となるよう整備・充実を図ります。



施策の体系

基本目標 1 学びにつながるきっかけづくり

1-1 生涯学習に関する情報提供の充実

学ぶことの楽しさや大切さに興味・関心を持ってもらうため、講座開催や生涯学習活動団体の情報をさまざまな機会や手法を活用して発信します。

〈具体的な取組〉

(1) 多様な媒体を活用した情報の提供

(2) 生涯学習活動団体の情報の提供

〈成果指標〉

指 標	現状値	目標値	
	2016年度	2021年度	2026年度
生涯学習情報誌「まなびや選科」の認知度	32.3%	37.0%	42.0%
生涯学習情報サイト「まなびや選科」の認知度	32.3%	37.0%	42.0%

1-2 学習活動の多様なきっかけの提供

一人ひとりが自分に合った学習方法や学習する場を選ぶことができるよう、学習活動へのきっかけづくりを行い、学習継続の動機付けとなるような取組を推進します。

〈具体的な取組〉

(1) 相談窓口機能の充実

(2) 生涯学習のきっかけとなる講座の開催

〈成果指標〉

指 標	現状値	目標値	
	2016年度	2021年度	2026年度
生涯学習に取り組んでいる人の割合	65.0%	70.0%	75.0%

基本目標 2 多様なニーズに応じた学ぶ機会の充実

2-1 ライフステージに応じた学習機会の充実

人々が生涯にわたって充実した生活を送れるよう、ライフステージによって変化する学習課題に応じた、きめ細かな学習が主体的に行える学習機会の提供を推進します。

〈具体的な取組〉

- (1) 乳幼児期における学習機会の充実
- (2) 青少年期における学習機会の充実
- (3) 成人期における学習機会の充実
- (4) 高齢期における学習機会の充実

〈成果指標〉

指 標	現状値	目標値	
	2016年度	2021年度	2026年度
親子で参加する講座の延受講者数	5,733人	5,900人	6,100人
ふれあい教育セミナーに取り組む小中学校等数	67セミナー	69セミナー	71セミナー
かすがい熟年大学の延受講者数	7,159人	7,500人	7,900人

2-2 現代的・社会的課題やニーズに対応した学習機会の充実

市民の学習ニーズも多様化し、現代社会には多様な課題があることから、現代的・社会的課題への対応を図るための講座や市民ニーズに応じた講座を開催します。

〈具体的な取組〉

- (1) 夜間や休日に開催する講座の充実
- (2) 障がいのある人が学べる機会の充実
- (3) 就労支援や職業能力を高める学習機会の充実
- (4) 情報化・国際化社会に対応した学習機会の充実
- (5) 環境に関する学習機会の充実
- (6) 健康に関する学習機会の充実
- (7) 男女共同参画に関する学習機会の充実
- (8) 市民ニーズの的確な把握

〈成果指標〉

指 標	現状値	目標値	
	2016年度	2021年度	2026年度
公民館及びふれあいセンターなどで開催する講座の延受講者数	26,361人	27,500人	29,000人

2-3 生涯スポーツの振興

全ての市民が生涯にわたって、スポーツに取り組むことで、健やかに過ごし、地域における人々の交流が促進されるよう総合的な取組を進めます。

〈具体的な取組〉

- (1) 多目的総合運動広場の整備
- (2) コミュニティスポーツの推進
- (3) スポーツに関する学習機会の充実

〈成果指標〉

指 標	現状値	目標値	
	2016年度	2021年度	2026年度
スポーツ教室の参加人数	68,266人	70,500人	73,000人

2-4 文化芸術の振興

文化芸術を鑑賞したり、体験したりする学習機会の充実を図るとともに、歴史や文化が後世に受け継がれていくための学習機会の充実を図ります。

〈具体的な取組〉

- (1) 文化芸術の鑑賞機会の提供
- (2) 文化芸術に関する学習機会の充実
- (3) 特色ある文化の推進
- (4) 郷土文化の継承及び文化財保護意識の啓発

〈成果指標〉

指 標	現状値	目標値	
	2016年度	2021年度	2026年度
文化芸術活動をしている人の割合	14.5%	20.0%	25.0%

基本目標3 学んだ成果を生かせる仕組みづくり

3-1 地域の担い手となる人材の発掘及び育成

地域における学習活動の活発化を図り、専門的知識を持つリーダーを始め、地域や団体活動のリーダー、ボランティアとなる人材の育成と新たな人材の発掘を図ります。

〈具体的な取組〉

(1) 指導者となりうる人材の育成

(2) ボランティアの育成

〈成果指標〉

指 標	現状値	目標値	
	2016年度	2021年度	2026年度
生涯学習情報サイトに登録されている講師者数	232人	260人	290人

3-2 学習成果を生かす機会の充実

市民が学習の成果を社会に還元できるよう、学習活動を通じて身につけた知識、技術、経験などの成果を発表する機会や成果を生かせる場の充実を図ります。

〈具体的な取組〉

(1) 学習成果を発表する機会の提供

(2) 市民自らが企画した講座の開催

〈成果指標〉

指 標	現状値	目標値	
	2016年度	2021年度	2026年度
公民館まっりの参加団体数	153団体	170団体	185団体

3-3 学習成果を生かしたまちづくりの推進

地域課題や生活課題について、市民自らが解決に取り組んでいけるような学習機会を提供するとともに、学習を通じて得た成果を、まちづくりに生かすことを推進します。

〈具体的な取組〉

- (1) 防犯、防災など安全と安心に関する学習機会の充実 (2) 住民主体による地域課題の解決に向けた学習の支援

〈成果指標〉

指 標	現状値	目標値	
	2016年度	2021年度	2026年度
学習活動を通じて身に付けた知識・技能を、地域でのまちづくりや地域の活性化のために生かしたい人の割合	7.2%	9.5%	12.0%

基本目標4 学びを豊かにする環境づくり

4-1 身近な生涯学習関連施設の充実

公民館を始めとした生涯学習関連施設が、市民にとって利用しやすい学習の場となるよう、利便性の向上や適切な維持管理による効率的な運営を目指します。

〈具体的な取組〉

- (1) 市民が利用しやすい施設の運営 (2) 施設の有効活用
 (3) 施設の適切な維持管理

〈成果指標〉

指 標	現状値	目標値	
	2016年度	2021年度	2026年度
公民館及びふれあいセンターなどの利用者数	545,177人	548,500人	552,000人

4-2 自主的な学習活動への支援

市民の自主的・自発的な学習活動を活性化するため、豊富な資料や情報の収集やICTの有効活用、サークルやグループへの支援を行います。

〈具体的な取組〉

- (1) 図書館・図書室の充実
 (2) ICTを活用した学習の推進
 (3) 生涯学習活動団体への活動支援

〈成果指標〉

指 標	現状値	目標値	
	2016年度	2021年度	2026年度
生涯学習活動団体の会員数	14,868人	15,000人	15,000人

4-3 関係機関とのネットワークの構築

市民の学習ニーズに対応し、多様な学習活動を総合的に推進するため、市民、地域、大学などの高等教育機関、民間団体、企業等とのネットワークの強化を図ります。

〈具体的な取組〉

- (1) 大学や企業などとの連携強化
 (2) 近隣自治体との連携強化

〈成果指標〉

指 標	現状値	目標値	
	2016年度	2021年度	2026年度
大学連携講座の講座数	17講座	20講座	24講座

令和 2 年度 推進計画進捗状況

《凡例》

施策2-1 ライフステージに応じた学ぶ機会の充実

計画に掲載している具体的な取り組みとその目的

(1) 乳幼児期における学習機会の充実（乳幼児が健やかに育める学習機会や子育て家庭を支援するような学習機会の充実を図る。）

事業名	事業概要	令和2年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
乳幼児を対象とした講座 【公民館・ふれあいセンター】	運動、手遊び、読み聞かせなど親子で楽しむプログラムや親子のふれあいを提供する講座を実施する。	(1)公民館 実施数：16講座 実施講座：家族で楽しくリトミック、Let's！親子ピクス、親子でリズム遊び♪ 受講者数：2,200人 (2)ふれあいセンター 実施数：6講座 実施講座：ベビーおやこ 受講者数：1,454人	家族で楽しくリトミックは、母親だけでなく父親の参加もあった。 親と子の間だけでなく、参加者同士でコミュニケーションを図る機会を設けることができた。	○

事業名：第2次推進計画掲載事業名
【 】内は担当課名・実施施設名
事業概要：各事業の概要説明

事業実施の成果・特記事項：
事業の実施により得られた成果、改善・工夫した事項について記載。

自己評価：
前年実績を基準とした自己評価

◎	想定した以上の成果が得られた。または、前年度実績を上回る成果があった。
○	概ね想定した成果が得られた。または、前年度実績と同程度の成果があった。
△	想定した目標に到達できなかつたところがあった。または、前年度実績を下回る成果しか得られなかつた。
×	全般的に想定した目標に到達できなかつた。または、前年度と比較し、大幅に下回る成果しか得られなかつた。
—	評価なし（事業の廃止、新型コロナウイルス感染防止のため、事業を中止したもの）

※1 公民館・ふれあいセンター
中央公民館、知多公民館、鷹来公民館、
坂下公民館、東部公民館、
味美ふれあいセンター、高蔵寺ふれあいセンター、
南部ふれあいセンター、西部ふれあいセンター

成果指標と目標値

成果指標と目標値：計画に記載している成果指標と目標値、当該年度実績について記載。

成果指標	現状値	目標値		実績値
	2016年度	2021年度	2026年度	2020年度
親子で参加する講座の延受講者数（公民館、ふれあいセンター、青年の家、レディヤンかすがい）	5,733人	5,900人	6,100人	1,644人
ふれあい教育セミナーに取り組む小中学校等数	67セミナー	69セミナー	71セミナー	36セミナー
かすがい熟年大学の延受講者数	7,159人	7,500人	7,900人	—

施策の評価

達成度（掲載事業数 26）	評価
◎ 全般的に想定した以上の成果が得られた。	0
○ 全般的に、概ね想定した成果が得られた。	21
△ 想定した目標に到達できなかったところがあった。	0
× 全般的に想定した目標に到達できなかった。	0
— 評価なし	5

施策の評価：
当該年度の達成度（自己評価）についてまとめ、施策ごとの評価を記載。

基本目標 1 学びにつながるきっかけづくり

施策 1-1 生涯学習に関する情報提供の充実

(1) 多様な媒体を活用した情報の提供（生涯学習に関する情報を様々な機会や手法を活用して適時適切に発信し、学習のきっかけづくりにつなげる。）

事業名	事業概要	令和2年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
生涯学習情報サイト 「まなびや選科」 【文化・生涯学習課】	生涯学習情報をインターネット上で提供するシステムを活用し、公民館等で開催する講座やイベント情報を提供する。	アクセス件数：26,207件（前年度37,374件） 団体登録件数：138団体（うち新規登録3団体） 講師登録件数：296人（うち新規登録17人）	新型コロナウイルス感染症の影響も考えられるが、アクセス件数が大幅に減少しており、情報サイトについて周知が不足している。	△
※事業廃止 生涯学習情報誌「まなびや選科」 【文化・生涯学習課】	公民館等で開催を予定しているさまざまな講座やイベント情報を掲載した生涯学習情報誌を発行する。	実施なし ※講座受講者へのアンケートでは、情報源として広報春日井が圧倒的多数を占めており、インターネットを利用した申し込みも増えていることから、令和元年度末で廃止した。	情報誌は令和元年度末で廃止。	—
さまざまな情報媒体を活用した情報の発信 【広報広聴課】	ツイッター、フェイスブックなどのSNSやスマートフォンアプリを活用して、講座をはじめとした生涯学習に関する情報の発信を推進する。	市民一人ひとりの求める情報を的確に提供できるよう、春日井市ホームページや公式アプリ「春ポケ」で講座情報、イベント情報を提供した。 HPアクセス件数：16,122,461件（前年より6,586,548件増） イベントカレンダー：49,148件（前年より1,915件増）	市ホームページや市公式アプリ「春ポケ」において情報発信を行い、広く講座情報等の周知ができた。 アクセス件数も増加している。	○
広報春日井 【広報広聴課】	生涯学習に関する情報を始め、市の魅力、市政情報に関するきめ細かな情報を発信するため、広報誌を発行する。	生涯学習に関する情報を始め、市政全般の情報や市の魅力を幅広く市民へ発信するため、広報誌を作成・発行した。 発行回数：年24回 発行日：毎月1日号及び15日号 仕様：A4【1日号：全面カラー、15日号：2色刷り】 発行部数：98,000部 主な内容：市のお知らせや催し、講座情報、市の魅力情報等	公共施設や金融機関、郵便局、医師会加入の医療機関やコンビニエンスストアなど、幅広い機関へ設置し、情報が取得できる環境を整備した。	○

		配布先：町内会加入世帯への配布の他、公共施設や金融機関、郵便局、医療機関、コンビニエンスストア、各公立保育園へ設置。 ※令和3年度からは広報発行回数を月1回に変更する。		
--	--	---	--	--

(2) 生涯学習活動団体の情報の提供（市民が気軽に生涯学習活動に参加できるよう、グループやサークルの情報を提供する。）

事業名	事業概要	令和2年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
生涯学習情報サイトへの団体登録 【文化・生涯学習課】	公民館やふれあいセンター等で活動している団体の活動内容等をインターネット上で提供する。	「講師情報」「団体・サークル情報」「講座情報」などについてインターネットを通して広く提供した。 アクセス件数：26,207件（前年度37,374件） 団体登録件数：138団体（うち新規登録3団体）	生涯学習活動を行う団体の情報を発信し、インターネットを通じて情報提供できた。	○
生涯学習情報誌での活動紹介 【文化・生涯学習課】	生涯学習情報誌において、一緒に学ぶ仲間を募集している団体の活動紹介を掲載する。	実施なし ※講座受講者へのアンケートでは、情報源として広報春日井が圧倒的多数を占めており、インターネットを利用した申し込みも増えていることから、令和元年度末で廃止した。	情報誌は令和元年度末で廃止したが、各施設でポスターを掲示するなど活動紹介を行っている。さらに団体情報を紹介できる場の検討を進める。	△

成果指標と目標値

成果指標	現状値	目標値		実績値
	2016年度	2021年度	2026年度	2020年度
生涯学習情報誌「まなびや選科」の認知度	32.3%	37.0%	42.0%	2021年度に測定
生涯学習情報サイト「まなびや選科」の認知度	32.3%	37.0%	42.0%	2021年度に測定

施策の評価

達成度（掲載事業数 6）		評価
◎ 全般的に想定した以上の成果が得られた。	0	チラシやインターネットなどにより情報を発信していても、情報が欲しい人の元に届かなければ効果が得られない。より身近な場所や手軽な方法で生涯学習に関する情報を多くの人が入手できるよう工夫が必要である。 令和元年度に廃止した生涯学習情報誌に代わる新たな情報の発信方法として様々な情報媒体が活用されている。生涯学習情報サイトについては、さらなる周知方法について検討されたい。
○ 全般的に、概ね想定した成果が得られた。	3	
△ 想定した目標に到達できなかったところがあった。	2	
× 全般的に想定した目標に到達できなかった。	0	
— 評価なし	1	

施策 1-2 学習活動の多様なきっかけの提供

(1) 相談窓口機能の充実（学習機会や生涯学習活動を行うグループ、サークルに関すること、学習成果の活かし方など様々な相談を行うことができる窓口の充実を図る。）

事業名	事業概要	令和2年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己評価
生涯学習指導員 【文化・生涯学習課】	市民からの生涯学習に関する相談への対応や学習情報の提供を行う生涯学習指導員を配置する。	生涯学習指導員配置状況 文化・生涯学習課 2人 松原学習センター 3人	生涯学習指導員を配置した。市民からの相談がなく、事業の企画・助言、講座の講師等が指導員の主な業務という状況が続いている。	○

<p>ボランティア相談及び市民活動・NPO相談 【市民活動支援センター】</p>	<p>ボランティアや市民活動を支援するため、ボランティアの紹介や市民活動に関する相談事業を実施する。</p>	<p>(1)ボランティア相談 火曜日～金曜日 午前9時～正午、午後1時～5時 相談件数 937件 (1,581件減)</p> <p>(2)市民活動・NPO相談 【職員、市民活動支援に優れた相談員】 火曜日～日曜日 午前9時～午後5時 (相談内容により予約制)</p> <p>【NPOスタッフ】 火曜日～金曜日 午前9時～正午、午後1時～4時 第2土曜日 午前9時～午後1時 相談件数 52件 (1件増)</p>	<p>新型コロナウイルスの影響で相談件数は大幅に減少したが、窓口での対面相談だけでなく、電話での相談にも対応できた。</p>	<p>○</p>
--	--	---	--	----------

(2) 生涯学習のきっかけとなる講座の開催（生涯学習が身近なものと感じ興味関心を持つことができるよう気軽に参加できる学習機会を提供する。）

事業名	事業概要	令和2年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
<p>初心者向け講座 【公民館・ふれあいセンター等】</p>	<p>生涯学習を始めるきっかけとなるよう、さまざまな分野の初心者向けの講座を実施する。</p>	<p>公民館・ふれあいセンターにおいて、市民に利用しやすい学習環境を作るため、語学、健康、音楽、芸術など幅広い分野で、初心者向けの講座を実施した。</p> <p>(1)公民館 実施数：51講座 (23講座中止) 実施講座：初めてのハワイアンフラ、楽しく上達！自信が持てるワクワクボーカル教室・初級編、万葉集入門講座 (2)、初めて学ぶアロマセラピー～免疫力UP！？香りづくり体験～ ほか 受講者数：2,137人</p> <p>(2)ふれあいセンター 実施数：11講座 (7講座中止) 実施講座：簡単エクササイズ～気軽に始める健康づくり、手ぶらで学べる！「着付けレッスン1年生」、はじめてのヨーガでリフレッシュ ほか 受講者数：1,358人</p>	<p>タイトルに「初めての」、「気軽に」といった言葉を盛り込み、興味をそそるようなサブタイトルをつける等、企画内容だけでなくタイトルからも市民の目を引くよう工夫した。</p>	<p>○</p>

		(3)青年の家 実施数：7講座 実施講座：初心者のためのピアノ入門講座、初心者のためのウクレレ入門講座 ほか 受講者数：416人 (4)市民による市民のためのチャレンジ講座 新型コロナウイルスの影響により団体との調整ができなかったため中止。		
--	--	---	--	--

成果指標と目標値

成果指標	現状値	目標値		実績値
	2016年度	2021年度	2026年度	2020年度
生涯学習に取り組んでいる人の割合	65.0%	70.0%	75.0%	2021年度に測定

施策の評価

達成度（掲載事業数 3）	評価
◎ 全般的に想定した以上の成果が得られた。	0
○ 全般的に、概ね想定した成果が得られた。	3
△ 想定した目標に到達できなかったところがあった。	0
× 全般的に想定した目標に到達できなかった。	0
— 評価なし	0

新型コロナウイルスの影響により、ボランティア等の活動場所も減少しており、活動したい人のモチベーションを保つことも課題となる。活動を継続できるよう、より充実した相談体制が望まれる。
生涯学習を始めるきっかけづくりとしての初心者向け講座は、様々なニーズにこたえられるよう、より一層の充実を図り、多くの市民が参加できる講座が実施されることを期待する。

基本目標 2 多様なニーズに応じた学ぶ機会の充実

施策 2-1 ライフステージに応じた学習機会の充実

(1) 乳幼児期における学習機会の充実（乳幼児が健やかに育める学習機会や子育て家庭を支援するような学習機会の充実を図る。）

事業名	事業概要	令和2年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
乳幼児を対象とした講座 【文化・生涯学習課】	運動、手遊び、読み聞かせなど親子で楽しむプログラムや親子のふれあいを提供する講座を実施する。	(1)講師発掘・登用事業 実施数：1講座 実施講座：はじめての親子リトミック 受講者数：30人	親子で楽しく学ぶ機会を提供できた。	○
乳幼児を対象とした講座 【公民館・ふれあいセンター】	運動、手遊び、読み聞かせなど親子で楽しむプログラムや親子のふれあいを提供する講座を実施する。	(1)公民館 実施数：10講座（1講座中止） 実施講座：親子で歌おう！ふれあい音遊び、家族で楽しくリトミック、めざせオリンピック！？親子で楽しい体育遊び、子どもの部屋 ほか 受講者数：1,442人 (2)ふれあいセンター 実施数：6講座（1講座中止） 実施講座：ベビー&キッズ♪リズム遊び、おやこでいっしょにABC！、夏休みこども劇場 ほか 受講者数：370人	「家族で楽しくリトミック」は、母親だけでなく父親の参加もあった。 親と子の間だけでなく、参加者同士でコミュニケーションを図る機会を設けることができた。	○
乳幼児を対象とした講座 【保育課（子育て支援センター）】	運動、手遊び、読み聞かせなど親子で楽しむプログラムや親子のふれあいを提供する講座を実施する。	(1)育児講座 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 (2)親子教室 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 (げんきっ子教室、子育てサロン、お父さんといっしょ)	—	—

<p>乳幼児を対象とした講座 【子育て子育て支援館】</p>	<p>運動、手遊び、読み聞かせなど親子で楽しむプログラムや親子のふれあいを提供する講座を実施する。</p>	<p>子育て家庭の育児不安を和らげ、よりよい親子関係を育てるために、読み聞かせや体操等を通して親子で触れ合う機会を作るとともに、子どもや親同士の仲間づくりのための「出会いの場」を設けた。 内容等：読み聞かせ 29回、げんきっ子体操119回、育児講座 3講座、母親のリフレッシュ講座、子育て教室 4回、親子エアロビクス 1回 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 (親子教室「ふれあい広場」、つくってあそび、豆まき) 参加者数： 5,931人</p>	<p>新型コロナウイルス感染症対策を講じ、内容等を調整して実施し、子どもや親同士の仲間づくりに寄与した。</p>	<p>○</p>
<p>乳幼児を対象とした講座 【保育課（交通児童遊園）】</p>	<p>運動、手遊び、読み聞かせなど親子で楽しむプログラムや親子のふれあいを提供する講座を実施する。</p>	<p>子育て家庭の育児不安を和らげ、よりよい親子関係を育てる。子どもや親同士の仲間づくりのための「出会いの場」を設けた。 実施数：13回（22回中止） 内 容：体操、手遊び、リズム遊び、親子ふれあい遊び、簡単な制作あそび、季節行事など 参加者数：151人（68組）</p>	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、人数制限、時間短縮、密にならない工夫をしたうえで開催し、親子で楽しむ時間を提供できた。</p>	<p>○</p>
<p>乳幼児を対象とした講座 【図書館】</p>	<p>運動、手遊び、読み聞かせなど親子で楽しむプログラムや親子のふれあいを提供する講座を実施する</p>	<p>乳児期からの読書活動を支援するため、また家庭における読み聞かせを継続するため、親子向けの読み聞かせを行った。 (1)ブックスタート 実施回数：56回 参加者数：2,410組 (2)赤ちゃんのためのおはなし会※ 実施回数：図書館 5回、西部ふれあいセンター 1回 参加者数：図書館 72人、西部ふれあいセンター 13人 (3)紙芝居とお話を聞く会※ 実施回数：13回 参加者数：107人 (4)すくすく読み聞かせ会※ 実施回数：2回 参加者数：14人 (5)「春日井のむかし話」読み聞かせ動画の制作、配信 12話 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年4月～12月と令和3年1月18日～2月28日は開催中止</p>	<p>各種おはなし会を補完するものとして、「春日井のむかし話」に掲載された民話の読み聞かせ動画を制作し、YouTube春日井市公式チャンネルで配信した。</p>	<p>○</p>

<p>パパママ教室 【子ども政策課】</p>	<p>妊婦とその夫を対象に、出産や育児等について理解を深めるよう保健師や助産師が指導を行う教室を開催する。</p>	<p>(1)パパママ教室 対象：市内在住の妊婦（妊娠6か月以降）とパートナー 1コース1回、毎月、総合保健医療センターで実施 参加者数：281人（パパ88人、ママ193人） (2)日曜パパママ教室 対象：市内在住の初産婦（妊娠7か月以降）とパートナー 毎月1回、総合保健医療センターで実施 参加者数：561人（パパ280人、ママ281人） ※日曜パパママ教室では、先輩パパの育児体験の講話を教室参加者の中から募り、先輩パパたちがバトンを繋ぐような形で実施していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、DVDに収録したものを視聴する形で行った。</p>	<p>例年と異なる形式になったが、出産や育児等について学ぶ機会を提供することができた。</p>	<p>○</p>
<p>親支援事業（カンガルーひろば） 【子ども政策課】</p>	<p>育児不安を抱える母親同士のグループを対象にグループミーティングを行いながら、問題解決の糸口が見つかるよう支援する。</p>	<p>育児不安を抱える母親を対象に、育児不安の軽減、育児スキルの向上、孤立感の解消と仲間づくり等を目的として、育児指導やグループミーティングを行う。 対象：7か月児から1歳頃の母子 定員：10組 1グループあたり1回7グループ実施 スタッフ：臨床心理士、保健師、保育士、歯科衛生士 参加者数：実人数74人（延べ74人）</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため回数が制限される中、1グループ2回を1グループ1回に変更して実施することで、より多くの人に対応することができた。</p>	<p>○</p>
<p>育児相談 【子ども政策課・保育課 ほか】</p>	<p>子育ての不安や孤立感が軽減するよう、電話や面接、Eメールで子育ての不安や悩みの相談を受ける。</p>	<p>主に就学前児童の親の育児不安や孤立感を解消するよう、乳幼児の子育てに関する相談に対し、助言や情報提供を行った。 (1)子育て子育て総合支援館 実施日時：火曜日～日曜日 9：00～18：00 相談件数：電話63件、面接201件、合計264件 (2)子育て支援センター 実施日時：月曜日～金曜日 9：00～16:00 電話相談：34件 面接相談：6件 (3)児童センター 実施日時：火曜日～日曜日 9：30～16：00 相談件数：78件 (4)東部子育てセンター 実施日時：月曜日～土曜日 10：00～16：00 (5)子育て応援広場キッコロ 実施日時：月曜日～金曜日 10：00～15：00 相談件数：21件</p>	<p>電話による新たにオンライン相談を取入れ、利用の促進を図った。</p>	<p>○</p>

		<p>(6)グルッポふじとう児童館 実施日時：火曜日～日曜日 9：00～16：00 相談件数：307件 相談件数：138件</p> <p>(7)交通児童遊園 実施日時：火曜日～日曜日 9：00～18：00 相談件数：19件</p> <p>(8)すくすくEメール相談 相談件数：10件</p> <p>※新型コロナウイルス感染症対策により施設の自由来所を中止した期間においても、育児相談を継続して実施するとともに、新たにオンライン相談を取入れ、利用の促進を図った。</p>		
--	--	--	--	--

(2) 青年期における学習機会の充実（青少年が豊かな人間性、社会性、公共性を身につけることができるような学習機会の充実を図る。）

事業名	事業概要	令和2年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
土曜チャレンジ・アップ教室 【学校教育課】	小学生が土曜日を有意義に過ごす機会を提供するため、大学や地域の企業等の協力により、小学校においてスポーツや理科の実験等を行う。	子どもたちの自主性を高め、幅広い成長を促すとともに可能性を広げるために、地域の多様な経験や技能を持つ人材・大学・企業等の協力により、子どもたちにとってより豊かで有意義な土曜日を実現する。 実施校：5校（6校中止） 実施回数：6回（48回中止） 参加者数：81人	子どもたちに対し、体験の機会を提供し、有意義な土曜日をすごしてもらうことができた。	○
わいわいカーニバル 【子ども政策課】	さまざまな人との関わりや体験を通して、子どもが持つ自由で伸びやかな創造力を引き出す子どもの祭典を開催する。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	—	—

<p>子ども・親子向け講座 【子育て子育て支援館】</p>	<p>子どもや親子を対象に、料理、工作、体操を始めとした体験型の講座などを実施し、子どもの創造力を引き出す。</p>	<p>児童の健康を増進し、情操を豊かにするよう子どもや親子向けの講座を実施した。 内容等：にこにこ劇場2回、ミニコンサート2回、げんきっ子フェスタ・げんきっ子会議 参加者数：425人 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 子ども講座、卓球教室、ヒップホップ、工作教室、伝承遊び、おいしいクッキング、ファミリークッキング、親子deクッキング</p>	<p>新型コロナウイルス感染症対策を講じ、内容等を調整して実施し、子どもや親子が楽しむ機会を提供できた。</p>	<p>○</p>
<p>子ども・親子向け講座 【交通児童遊園】</p>	<p>子どもや親子を対象に、将棋、工作、手品、和太鼓を始めとした体験型の講座などを実施し、子どもの創造力を引き出す。</p>	<p>児童に健全な遊びの機会を与え、体験する楽しさ、創造する楽しさを味わえるようにした。 実施数：11講座（中止19講座） 実施講座：陶芸教室、エコ工作活動、冬の工作教室、遊エンジョイ！、自転車乗り方教室、お楽しみ演奏会 参加者数：79人 ※お楽しみ演奏会はYouTubeでも配信</p>	<p>YouTubeで配信することで、家庭で楽しむ機会を提供できた。</p>	<p>○</p>
<p>子ども・親子向け講座 【文化・生涯学習課】</p>	<p>子どもや親子を対象に、料理、工作、体操を始めとした体験型の講座などを実施し、子どもの創造力を引き出す。</p>	<p>(1)大学連携講座 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 (2)講師発掘・登用事業 子どもを対象とした講座を開催した。 実施回数：1講座 実施講座：冬の書道教室 参加者数：7人</p>	<p>子ども向けに書に親しむ機会を提供することができた。</p>	<p>○</p>
<p>子ども・親子向け講座 【公民館・ふれあいセンター】</p>	<p>子どもや親子を対象に、料理、工作、体操を始めとした体験型の講座などを実施し、子どもの創造力を引き出す。</p>	<p>小学生または小学生とその保護者を対象に体験型の講座を実施し、子どもの想像力を引き出し、親子のふれあいの時間が持てるような講座を実施した。 (1)公民館 実施数：31講座（4講座中止） 実施講座：ボイストレーニング～歌うまキッズになろう～、アート・ワークショップ～泥団子を作ろう！～、バルーンで遊ぼう ほか 受講者数：597人</p>	<p>親子で手作りのおもしろさを学んだり、ふれあったりできる時間を提供することができた。また、親子での講座を実施することで、若い世代に施設を利用してもらえる機会をつくることができた。</p>	<p>○</p>

		(2)ふれあいセンター 実施数：15講座（3講座中止） 実施講座：親子で楽しむ簡単そば打ち、親子スイーツクッキング ほか 受講者数：998人		
子ども・親子向け講座 【青年の家】	子どもや親子を対象に、料理、工作、体操を始めとした体験型の講座などを実施し、子どもの創造力を引き出す。	子ども（小学生）対象の講座を実施した。 実施数：2講座 実施講座：子ども和太鼓体験講座、キッズ！アウトドアわくわく体験講座 受講者数：49人	親子対象ではないが、保護者にも参加してもらうことで、親子でのふれあいの時間を提供することができた。	○
子ども・親子向け講座 【男女共同参画課】	子どもや親子を対象に、料理、工作、体操を始めとした体験型の講座などを実施し、子どもの創造力を引き出す。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	—	—

(3) 成人期における学習機会の充実（家庭生活の充実や生活課題の解決に資するような学習機会の充実を図る。）

事業名	事業概要	令和2年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
ふれあい教育セミナー 【文化・生涯学習課】	親のあり方や家庭教育の大切さ等を学習する「ふれあい教育セミナー」に対して補助することで、家庭教育力と地域教育力の向上を図る。	親のあり方や家庭教育の大切さ等を学習する講座を充実させ、家庭教育力と地域教育力の向上を図った。 実施団体数：36団体（私立保育園3園、幼稚園5園、小学校20校、中学校8校） 実施回数：92回 主な講座：育児講座、命のお話、思春期の子どもとのかかわり方、食育講座、環境アレルギーの予防、情報モラル教室、親子で学ぼう、親子でオンライン遊び等 ※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、「資料配付による3密防止を踏まえたふれあい教育セミナー」として、厚生労働省「体罰等によらない子育てを広げよう！」啓発資料を配付し、体罰等によらない望ましい子育ての方法に関する情報提供を行った。	ZOOM等を活用したオンラインセミナーや資料配付によるセミナーなど開催方法を工夫しセミナーを開催する委員会もあり、様々な形で家庭教育について学ぶ機会を持つことができた。	○

家庭介護者研修 【地域福祉課】	要介護者等を在宅で介護するなど、介護に関心がある人に、家庭での介護に関する知識や技術を習得する機会を提供する。	家庭での介護に関する知識や技術を習得する機会を設ける。 実施数：3日間6講座 実施内容： ・高齢者のための健康管理 ・高齢者介護技術入門～車椅子介助の基本～ ・健康寿命を延ばす口腔ケア ・高齢者が薬・健康食品と上手につきあうために ・高齢者施設の選び方～どこで最期を迎えるか～ ・高齢者介護技術入門～排泄介助の基本～ 受講者数：57人	実技をまじえた講座を実施することで、「より実践的な介護に関する知識や技術を習得できた。」と受講者から好評を得ることができた。	○
認知症サポーター養成講座 【地域福祉課】	認知症に関する正しい知識の普及や認知症高齢者等を介護する家族等の支援を図るため、認知症サポーター養成講座を開催する。	小中学生、地域住民等の多様な世代に対し、認知症に関する講座を実施した。 開催回数 20回 受講者数 931人	小中学生、地域住民等の多様な世代に対し、世代等に応じた内容で講座を開催し、認知症に関する正しい知識を普及することができた。	○
消費生活講座 【市民活動推進課】	悪質商法による被害を未然に防止するための知識や被害にあった場合の対処法等を学べる講座を開催する。	消費生活に関する諸問題について正しい知識を身に付け、適切な問題解決を図れるように講座を開催した。 実施数：6講座（8講座中止） 実施講座：派遣講座（5講座）、市等主催講座（1講座） 受講者数：153人	老人会等の団体を中心に、消費生活相談員など専門家を派遣しており、消費者被害の軽減や防止に役立てることができた。	○

(4) 高齢期における学習機会の充実（充実した日々を過ごし、いつまでも元気に暮らすことができるような学習機会の充実を図る。）

事業名	事業概要	令和2年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
かすがい熟年大学 【文化・生涯学習課】	高齢者が充実した余暇時間を過ごすとともに学習を通じて健康で生きがいのある生活が送れるよう学習の場を提供する。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	—	—

※事業廃止 高齢者学級 【公民館】	60歳以上の方を対象に、身近な施設で歴史、芸能、健康づくりや介護予防など幅広く学べる場を提供する。	令和元年度末に廃止。 ※年齢問わず受講できるアラカルト形式の講座に変更し、幅広い年齢層が参加できる講座とした。	—	—
高齢者の就労支援 【地域福祉課】	働く意欲ある高齢者の就労を後押しするため、必要な知識や技能が習得可能な講座の開催やシルバー人材センターとの連携を推進する。	シルバー人材センターに委託して、高齢者の健康増進や生きがいづくりにつながる講座を開催した。 開催回数 11回 受講者数 97人	シルバー人材センターの会員が講師を務めることで、会員の持つ技能や知識を生かす場を提供できた。	○
介護予防講師派遣事業 【地域福祉課】	地域の概ね10人以上の高齢者が定期的に集まる場に、専門知識を持った講師を3か月程度派遣し、地域での介護予防の取組を支援する。	派遣回数 介護予防活動グループ化事業 14回 介護予防活動普及事業 44回	講師派遣事業の実施後、受講者が主体となり、複数の団体で自主活動として継続できている。	○
Uターン育児塾 【子ども政策課】	祖父母世代に新しい育児事情の学習機会を与え、その立場から育児参加をしてもらい、出産・育児支援の充実を図る。	もうすぐ孫が生まれる人、または1歳未満の孫がいる祖父母を対象に、育児教室を行う。祖父母は主体的に育児を担うのではなく、新米パパママのサポーターとして活躍することを目的に実施した。祖父母世代のみでなく、パパ、ママ同伴も参加可能とした。 対象者：もうすぐ孫が生まれる人、または1歳未満の孫がいる人 内容：保健師の講話・沐浴のデモンストレーション 実施回数：2回（2回中止） 参加者数：21人 ※感染拡大防止のため、実習を保健師によるデモンストレーションに変更して実施	育児のサポートができるよう、祖父母世代に現在の育児を学びなおしてもらう機会を提供できた。	○

成果指標と目標値

成果指標	現状値	目標値		実績値
	2016年度	2021年度	2026年度	2020年度
親子で参加する講座の延受講者数（公民館、ふれあいセンター、青年の家、レディヤンかすがい）	5,733人	5,900人	6,100人	1,644人
ふれあい教育セミナーに取り組む小中学校等数	67セミナー	69セミナー	71セミナー	36セミナー
かすがい熟年大学の延受講者数	7,159人	7,500人	7,900人	—

施策の評価

達成度（掲載事業数 26）	評価
◎ 全般的に想定した以上の成果が得られた。	ライフステージや置かれている状況によって、直面する課題は異なるため、それに応じて求められる学習の内容や手法等も変わってくる。その世代にあわせた多彩な学習機会を提供し、切れ目のない学びを提供できるよう進められたい。
○ 全般的に、概ね想定した成果が得られた。	
△ 想定した目標に到達できなかつたところがあった。	
× 全般的に想定した目標に到達できなかつた。	
— 評価なし	

施策 2-2 現代的・社会的課題やニーズに対応した学習機会の充実

(1) 夜間や休日に開催する講座の充実（多様なライフスタイルに対応した学習機会の充実を図る。）

事業名	事業概要	令和2年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
夜間や休日における講座の開催 【文化・生涯学習課】	公民館やふれあいセンター等において、平日の夜間や土曜、日曜、祝日に開催するさまざまな分野の講座の充実を図る。	講師発掘・登用事業で、平日に働く人も受講できるように、休日や夜間に講座を実施した。 実施数：1講座 実施講座：かんたん日舞エクササイズ！ 受講者数：10人	日曜日に開催することで、若い世代（40～50代）の参加を得ることができた。	○
夜間や休日における講座の開催 【公民館・ふれあいセンター・青年の家】	公民館やふれあいセンター等において、平日の夜間や土曜、日曜、祝日に開催するさまざまな分野の講座の充実を図る。	平日に働く人も受講できるように、休日や夜間に講座を実施した。 (1)公民館 実施数：44講座（26講座中止） 実施講座：外国人のための日本語講座（実践クラス）、旬の野菜で免疫力UP！、SNS映えするお弁当づくり講座 ほか 受講者数：1,175人 (2)ふれあいセンター 実施数：14講座（5講座中止） 実施講座：癒しのナイトフラ、カラーセラピー☆ファーストステップ♪、持ち込みパソコン講座 ほか 受講者数：543人 (3)青年の家 実施数：2講座 実施講座：初心者のための太極拳入門講座 ほか 受講者数：61人	アンケート調査で「休日の開催で参加しやすかった。」との意見が多くあった。 昼間に開催して好評だった講座を夜間にも開催したところ、新規の受講者を獲得することができた。 受講者の中から、施設で定期的に活動している登録団体への加入があった。	○

夜間や休日における講座の開催 【男女共同参画課】	公民館やふれあいセンター等において、平日の夜間や土曜、日曜、祝日に開催するさまざまな分野の講座の充実を図る。	平日に働く人も受講できるように、休日や夜間に講座を実施した。 実施数：4講座（7講座中止） 実施講座：生前整理について学ぶ、バドミントンを楽しもう 男性向けワイシャツメンテナンス講座、女性のためのキャリアアップ講座（土曜コース） 受講者数：70人	休日に開催することにより、多くの人に参加していただくことができた。	○
-----------------------------	--	---	-----------------------------------	---

(2) 障がいのある人が学べる機会の充実（障がいのある人が地域社会の中で多様な学習活動が行うことができるよう啓発活動の推進、学習の場の提供を図る。）

事業名	事業概要	令和2年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
障がい理解のための啓発講演会 【障がい福祉課】	障がいのある人も社会の一員として活動に参加できる環境を醸成するため、障がいに対する正しい理解と認識を深める講演会を開催する。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	—	—
障がい者を対象とした講座 【総合福祉センター】	パソコンの操作方法や軽運動など障がいの特性に配慮した講座を開催する。	パソコン講座や視覚障がい者スマートフォン講座を実施し、操作方法を学び、日常生活に役立ててもらおう。ボイストレーニングや音楽療法では発声や呼吸法を意識しながら歌ったり、障がい特性に配慮しながら楽器演奏などを楽しめる講座を実施した。また、運動教室等を実施し、誰でも簡単にできる運動の機会を設けた。 実施数：12講座 実施講座：視覚障がい者スマートフォン講座、実践パソコン教室、元気パワーアップ運動教室 【新規講座】音楽療法（①中学生以上②年少～小学生）、楽しく体験！ボイストレーニング 受講者数：347人（うち障がい者192人）	「音楽療法」は、中学生以上と年少から小学生までと対象年齢を分け、開催日を土曜日・日曜日に実施したことで、幅広い年齢層の参加が得られた。また、ボイストレーニングは他の講座と比較して障がい者の参加が多かった。	◎

障がい者図書サービス 【図書館】	障がい者に学ぶ機会を提供するため、録音図書や点字図書の製作、ボランティアによる対面読書、図書無料郵送貸出を行う。	音訳ボランティアに録音図書製作・対面読書の実施に携わってもらった。また、点字図書についても点訳ボランティアに点字図書製作に携わってもらった。 ・録音・点字図書製作数： デジター図書：30種 点字データ：67種 ・対面読書：11回 実施 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 （音訳技術講習会（初級編）、音訳デジタル録音技術講習会）	音訳技術講習会の中止により新規ボランティアの養成はできなかったが、既存会員の積極的な活動により録音・点字図書の製作数は例年並みを確保できた。	○
---------------------	--	--	--	---

(3) 就労支援や職業能力を高める学習機会の充実（職業上の知識・技能の習得など生涯を通じて自らの職業能力の向上につながる学習機会の充実を図る。）

事業名	事業概要	令和2年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
就職支援に関するセミナー 【経済振興課】	求職者の就業につなげるため、就職活動に必要な知識を得るセミナーを開催する。	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止	—	—
合同就職説明会 【経済振興課】	市内企業への就業に関心のある求職者の就業を支援するため、商工会議所が開催する合同就職説明会を支援する。	求職者が就職先を探すにあたり、業界研究や企業研究を行うために必要な知識の取得を図り、市内企業への就業につなげるための合同就職説明会を開催した。 就職フェアin春日井&小牧 実施数：1回（3/22） 参加者数：午前30人 午後25人	前年に比べ、就職フェアを通じた採用試験への応募件数が増加しており、市内企業への就業を支援することができた。	○
ママインターン 【企画政策課】	就労を希望する母親を支援するため、市内企業等におけるインターンシップを通じて子育てをしながら働くことを体験する機会を提供する。	実習期間：通年 参加者数：2名 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4～9月、2～3月はインターン等を休止 ※令和3年度からはNPO法人あっとわんの自主事業として実施していく。	参加者に、働く体験を通じて自分の新しいライフスタイルについて考えてもらう機会を提供できた。	○

(4) 情報化・国際化社会に対応した学習機会の充実（高度情報化への対応や豊かな国際感覚を育むための学習機会の充実を図る。）

事業名	事業概要	令和2年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
ICTの活用に関する講座 【文化・生涯学習課】	インターネット、タブレット、デジタルカメラなどの操作方法や活用方法を始めとした、ICTに関する講座を実施する。	大学連携講座 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 (ロボットプログラミング講座)	—	—
ICTの活用に関する講座 【公民館・ふれあいセンター】	インターネット、タブレット、デジタルカメラなどの操作方法や活用方法を始めとした、ICTに関する講座を実施する。	(1)公民館 実施数：8講座（4講座中止） 実施講座：使いこなせばいろいろ便利！はじめてのスマートフォン、ズームの体験などでリモートの世界を楽しもう！パソコンでバーチャル井戸端会議のススメ ほか 受講者数：273人 (2)ふれあいセンター 実施数：4講座 実施講座：シニアのための持ち込みタブレット講座、iPhone講座 ほか 受講者数：117人	インターネットやデジタル通信機器等について理解を深める機会を提供できた。 スマートフォンの使い方の講座は、定員を大幅に超える申し込みがあったため、実施日程を追加して対応した。	○
ICTの活用に関する講座 【男女共同参画課】	インターネット、タブレット、デジタルカメラなどの操作方法や活用方法を始めとした、ICTに関する講座を実施する。	女性起業家を対象に、SNSの活用方法を学ぶ講座を開催した。 実施数：1講座 実施講座：女性起業家応援講座「SNSの活用方法を学ぼう」 受講者数：20人	初心者向けの内容とし参加しやすくすることで、好評を得た。	○
外国の文化にふれる講座 【文化・鍾愛学習課】	多文化共生社会の実現に寄与するため、外国文化の紹介や体験、親子で楽しく学ぶ外国語などの講座を実施する。	大学連携講座 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 (『紅楼夢』を知っていますか)	—	—

外国の文化にふれる講座 【公民館・ふれあいセンター】	多文化共生社会の実現に寄与するため、外国文化の紹介や体験、親子で楽しく学ぶ外国語などの講座を実施する。	(1)公民館 実施数：1講座 実施講座：韓国語講座～ステップアップ編～ 受講者数：119人 (2)ふれあいセンター 実施数：2講座 実施講座：おやこでいっしょにABC!①② 受講者数：137人	韓国語講座は、前年の初級講座に引き続き参加する受講者も多く、継続した学習機会を提供することができた。	○
外国の文化にふれる講座 【市民活動支援センター】	多文化共生社会の実現に寄与するため、外国文化の紹介や体験、親子で楽しく学ぶ外国語などの講座を実施する。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	—	—
わくわく！ふれあいワールド 【市民活動支援センター】	多文化共生を促進するため、市内に住む外国人との交流や異文化の紹介・体験を行うわくわく！ふれあいワールドを開催する。	異文化への理解を深めるとともに、外国人市民と日本人市民との交流を図るため、市内で活動する国際交流団体により設立された春日井市国際交流ネットワークに委託し、「わくわく！ふれあいワールド」を実施した。 開催回数：4回（2回中止） 実施内容：「中国の文化を体験してみましよう！」「北欧の文化を楽しもう」など、外国文化の紹介や異文化体験のイベントを開催。 参加者数：94人	外国文化の紹介と異文化体験ができるイベントを開催したことで、交流を図ることができた。	○

(5) 環境に関する学習機会の充実（環境に関する正しい認識を持ち、環境に配慮した生活を送るよう環境学習を推進する。）

事業名	事業概要	令和2年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
市民環境アカデミー 【環境政策課】	地球温暖化、省エネルギー、身近な自然環境やその保全活動等をテーマに、座学やフィールドワーク、ワークショップを通じて学ぶ機会を提供する。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	—	—

子ども環境アカデミー 【環境政策課】	子ども（小学4～6年生）とその保護者を対象とし、家族ぐるみで地球温暖化、自然環境保全、循環型社会等について総合的、横断的に学習する機会を提供する。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 連続講座を中止としたため、自宅において環境学習等ができるよう、市ホームページに『家ですごそう「STAY HOME」～環境編～』を掲載	講座は中止となったが、インターネットで環境学習について配信することで、学習機会を提供することができた。	○
エコライフセミナー 【環境政策課】	環境情報の提供と環境意識の高揚を図るため、地球温暖化や省エネルギーなど身近な視点から環境問題を考える講座を実施する。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	—	—
市民環境フォーラム 【環境政策課】	環境対策の推進や環境活動を行っている個人や団体等の表彰と、環境問題について学ぶ機会を提供する。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	—	—
ごみの減量と4Rの推進に関する講座 【クリーンセンター】	ごみの減量と4Rの推進を図るため、生ごみの堆肥化やごみとして処分される物品をリメイクして活用する講座などを開催する。	生ごみの堆肥化や、ごみとして処分される物品をリメイクして活用する講座を開催することにより、ごみの減量化と環境に対する正しい認識を持つ機会を設けた。 実施数：30講座33回 実施講座：ばかし作り教室・リメイク教室・包丁の研ぎ方教室・親子工作教室・自転車修理教室 ほか 受講者数：528人 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一部の講座を中止	講座の開催により、環境に対する認識を深め、ごみの減量と4Rを推進することができた。	○

(6) 健康に関する学習機会の充実（健康維持・増進や健康づくりへの意識高揚を図る。）

事業名	事業概要	令和2年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
市民健康づくり講座 【健康増進課】	生活習慣を改善するきっかけづくりとなるよう、健康づくりと予防方法に対する正しい知識を身につけることができる講座を実施する。	実施数：4講座 講座内容： ①ひきこもり講演会（参加者104人） ②舌はないけど、自分らしく生きる（参加者74人） ③魚を食べるのが好きになる講座～耳石ハンターのすすめ～（参加者38人） ④あなたの生活が運動になる！自然と身体を動かす「しかけ」とは？（参加者32人） 参加者数合計：248人	健康について考え、学ぶ機会を提供することで、健康への関心を高めることができた。	○
女性のためのヘルスアップ講座 【健康増進課】	各ライフステージにおける女性を対象とした健康づくり講座を実施する。	実施回数 3回 参加人数 22人 対象及び内容 （全世代）食育・調理実習 （壮年期世代）更年期の対処法、健康運動 （高齢期世代）歯の健康、健康運動 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため5回中止	各世代のニーズに合わせた内容の講座を提供することができた。	○
お気軽健康教室 【健康増進課】	高齢期における自立度の低下を防ぎ、健康寿命の延伸を図るため、ロコモティブシンドロームや認知症の予防に効果的な軽運動を行う教室を開催する。	実施回数：31回（総合保健医療センター） 27回（保健センター） 参加者数：842人（総合保健医療センター） 314人（保健センター） 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4～6月、1月（一部）、2月分を中止した。 ※1クール当たりの定員を減らして実施	高齢期における自立度の低下の防止、健康寿命の延伸を図るための健康づくりに取り組める機会を提供できた。	○

(7) 男女共同参画に関する学習機会の充実（男女共同参画についての理解を深める。）

事業名	事業概要	令和2年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
男女共同参画セミナー 【男女共同参画課】	あらゆる世代の方が生涯を通じて男女共同参画の視点を持ち、能力を開発、発揮し、社会のあらゆる分野へ参画していくために必要な能力を高めることができるよう講座の開催など学習機会を提供する。	女性自身が自立した個人としての意識を持ち、その能力をより高め、さまざまな分野で活躍できるよう女性の学習機会を提供した。また、男女共同参画社会の実現に向け、男女平等の意識づくりを目的としたセミナーを実施した。 実施数：3講座 実施講座： ○一般市民向け講座（2講座） 男性向けワイシャツのメンテナンス講座、女性起業家応援講座「SNSの活用方法を学ぼう」 受講者：25人 ○事業所向け講座（1講座） 職場における男女共同参画～withコロナ時代の働き方 受講者数：38人	「女性のためのビジネス講座」では、実践的な内容とすることで女性の就業能力向上に寄与できた。	○
男女共同参画市民フォーラム 【男女共同参画課】	男女共同参画社会の実現を目指した意識啓発を目的に、市民、社会活動団体、企業、市がともに考える機会として、市民フォーラムを開催する。	「男女共同参画」について、多くの市民に知ってもらうため、男女共同参画市民フォーラムをWebで開催した。 開催期間 令和2年11月28日（土）から12月28日（月）まで 閲覧人数及び回数 841人 2,183回 コンテンツ a 市長が“おとう飯”にチャレンジ b 中部大学スペースガールズの紹介 c プロに教わるアイロンのかけ方 d D I Yを楽しもう e L G B Tを知ろう f 僕は手伝わない（民間企業から提供） g ジェンダー川柳投票	Webで開催することにより、多くの方に閲覧いただくことができた。	○
ワーク・ライフ・バランスの推進 【男女共同参画課】	ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を推進するため、男女共同参画情報紙「はるか」による啓発のほか、事業者等に対する出張講座を行う。	事業者に対し、出張講座を実施した。 実施数：1講座 実施講座：職場における男女共同参画～withコロナ時代の働き方改革～ 受講者数：38人	事業者に対し、ワーク・ライフ・バランスについて考える機会を提供できた。	○

(8) 市民ニーズの的確な把握（多様化・高度化し、社会情勢に合わせて変化する市民ニーズを把握する。）

事業名	事業概要	令和2年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
アンケートを活用した市民ニーズの把握 【文化・生涯学習課】	講座受講者へのアンケートを実施するとともにネットアンケートシステム等を活用して市民ニーズの把握を行う。	各種講座において、実施後に受講者に対しアンケート調査を行った。	アンケートによりニーズを把握するとともに、アンケート結果を講師に提供し、改善すべき点などを共有することで、講座内容の改善を図った。	○
講座を評価する仕組みの構築 【文化・生涯学習課】	市民ニーズに即した講座の開催を目指し、講座への応募状況、講座内容や講師に対する満足度などを基に、講座を評価する仕組みづくりを行う。	実施できず。		×

成果指標と目標値

成果指標	現状値	目標値		実績値
	2016年度	2021年度	2026年度	2020年度
公民館及びふれあいセンターなどで開催する講座の延受講者数	26,361人	27,500人	29,000人	13,349人

施策の評価

達成度（掲載事業数 29）		評価
◎ 全般的に想定した以上の成果が得られた。	1	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止する講座が多いなか、新規講座を開催し、インターネット上で学ぶ機会を提供するなど、積極的な学習機会の提供を行っている。今後も、ICTを活用するなどさらなる学習機会の充実が期待される。
○ 全般的に、概ね想定した成果が得られた。	19	
△ 想定した目標に到達できなかったところがあった。	0	
× 全般的に想定した目標に到達できなかった。	1	
— 評価なし	8	

施策 2-3 生涯スポーツの振興

(1) 多目的総合運動広場の整備（スポーツ環境の充実や健康の維持増進を図る。）

事業名	事業概要	令和2年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
多目的総合運動広場の整備 【スポーツ課】	スポーツ環境の充実や健康の維持増進を図るため、朝宮公園に公園全体でスポーツ振興や健康社会の実現、子育て環境の充実を図り、市の魅力アップにもつながる施設として、多目的総合運動広場を新たに整備する。	(1)朝宮公園整備工事 ・第1期整備（陸上競技場整備工事他） ・工事監理業務等委託等	・工事、工事監理業務等委託は予定通り令和2年度分が終了した。第1期整備（陸上競技場整備工事他）は令和3年度までの継続事業であるため、令和3年度においても継続中である。	○

(2) コミュニティスポーツの推進（コミュニティスポーツの推進を図る。）

事業名	事業概要	令和2年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
総合型地域スポーツ クラブの支援 【スポーツ課】	健康・体力づくり運動に関する啓蒙と事業実施を行う学校区体育振興会を育成し、地域スポーツの振興を図る。	(1)地域住民のスポーツ・レクリエーションの普及振興を図るため、春日井市スポーツ協会を通じて各学校区体育振興会に補助金を交付した。 (2)学校区体育振興会交流大会 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	感染対策を講じながら、一部の振興会で実施することができた。	○
スポーツ推進委員 【スポーツ課】	地域のスポーツ大会、スポーツ教室等の実施に関する連絡調整及び指導・助言や健康・体力づくりの実技指導を行うスポーツ推進委員の充実を図る。	地域スポーツ振興のリーダーとして、実技研修会や講習会への参加により、スポーツ推進委員の意識高揚を図り、実践力や企画力等の資質向上に努めると共に、新たな指導者の発掘を目指した。その成果は、地域等への巡回指導、レクリエーションスポーツイベント等の開催に通じている。 また、全委員を対象にラジオ体操指導員資格を取得するよう促しており、委員の約90%が取得している。 愛日地区スポーツ推進委員連絡協議会の廃止に伴い、春日井市が事務局として新たに4市（春日井、小牧、瀬戸、尾張旭）の連絡協議会を立ち上げた。 ○春日井市スポーツ推進委員実技研修会の開催（2回） ○その他（研修会等への参加） 4市合同研修会 スポーツ推進委員の派遣 派遣件数:1件、派遣人数:4人	地域のスポーツの活性化を促すことができた。	○
ラジオ体操会 【スポーツ課】	子どもから高齢者まで、あらゆる世代の交流や健康づくりを推進するため、毎年8月の第1日曜日を「ラジオ体操の日」とし、「みんなでラジオ体操会」を実施することで、ラジオ体操の普及を図る。	(1)みんなでラジオ体操会 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 (2)ラジオ体操！チャレンジ宣言 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	—	—

(3) スポーツに関する学習機会の充実（日常的にスポーツやレクリエーションスポーツに親しめる機会の充実を図る。）

事業名	事業概要	令和2年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
スポーツに関する講座・教室 【公民館・ふれあいセンター】	健康づくりや生きがいづくりを推進するため、各年齢層に向けて、気軽にスポーツに親しめる講座や教室を実施する。	(1)公民館 実施数：15講座（7講座中止） 実施講座：パラスポーツ「ボッチャ」を体験しよう、ドローン・キックボクシング体験！ ほか 受講者数：666人 (2)ふれあいセンター 実施数：27講座（10講座中止） 実施講座：ノルディックウォーキング教室、みるみるカラダが若返る!ぴんぴんトレーニング教室 ほか 受講者数：1,666人	気軽にスポーツに親しむ機会を提供できた。 パラスポーツを体験する機会を提供できた。	○
スポーツイベント 【スポーツ課】	マラソン大会、スポーツフェスティバルなどを実施し、多くの市民が生涯を通じてスポーツに親しむことができるよう、各世代のニーズに合わせたスポーツへの参加機会の充実を図る。	(1)第39回新春春日井マラソン大会 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 (2)かすがい！スポーツフェスティバル 期日 10月11日 規模を縮小して開催 参加人数 286人 (3)レクリエーションスポーツ祭2020 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 (4)第36回春日井市内高校生スポーツ大会 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 (5)市民体育大会 期日 4月1日～3月31日 参加人数 3,630人	多くのスポーツイベントが中止となったが、一部の大会については、規模を縮小するなど対策を講じて開催し、スポーツに親しむ機会を提供することができた。	○

春日井市スポーツ・ふれあい財団との連携 【スポーツ課】	生涯スポーツ教室や出張スポーツ講座を始め、さまざまなスポーツ教室（講座）やスポーツイベントを行う、春日井市スポーツ・ふれあい財団と連携し、スポーツに親しむ機会の充実を図る。	スポーツ・ふれあい財団が事業を進めていくために必要な経費を補助し、その運営の充実及び住民福祉の向上を図った。 (1)スポーツ教室（講座）の開催 生涯スポーツ教室事業、運動指導事業、地域ふれあい運動教室、出張スポーツ講座及びトレーニング教室 延回数：1,462回 参加人数：22,032人 (2)スポーツイベントの実施 泳いでいるフォームを撮影できます！、サンフログ杯45分間耐久リレー、ボールゲームフェスタinかすがい、日本ハンドボールリーグ 春日井大会 ほか 参加人数：1,400人	多くのスポーツイベントが中止となったが、一部の大会については、規模を縮小するなど対策を講じて開催し、スポーツに親しむ機会を提供することができた。	○
---------------------------------------	--	---	--	---

成果指標と目標値

成果指標	現状値	目標値		実績値
	2016年度	2021年度	2026年度	2020年度
スポーツ教室の参加人数	68,266人	70,500人	73,000人	22,032人

施策の評価

達成度（掲載事業数 7）		評価
◎ 全般的に想定した以上の成果が得られた。	0	大きなスポーツイベントは中止となったものが多いが、地域におけるスポーツの振興のための人材育成や施設の整備は着実に進行している。今後も、多くの人々がスポーツに親しむ機会を提供できるよう事業を進められたい。
○ 全般的に、概ね想定した成果が得られた。	6	
△ 想定した目標に到達できなかったところがあった。	0	
× 全般的に想定した目標に到達できなかった。	0	
— 評価なし	1	

施策 2-4 文化芸術の振興

(1) 文化芸術の鑑賞機会の提供（誰もが気軽に文化芸術に親しむことができる環境の充実を図る。）

事業名	事業概要	令和2年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
かすがい市民文化財団との連携 【文化・生涯学習課】	かすがい市民文化財団と連携し、文化芸術の鑑賞機会の充実を図る。	かすがい市民文化財団自主事業として、美術系・舞台系・文芸系事業を実施した。 (1)美術系事業 ・ Family Photo Tree（中止） ・ 杉山新一原画展 (2)舞台系事業 ・ 古関裕而コンサート「わがまち春日井」 ・ 親子のためのファミリーシアター！to R mansion「にんぎょひめ」 ほか ※蜜蜂と遠雷コンサート、松竹大歌舞伎、山下洋輔スペシャル・ビッグバンド・コンサート2020など9事業中止 ※公文協シアターアーカイブス：国の新型コロナウイルス感染症対策関連の助成金を活用し、主な財団プロデュース公演の映像を配信した。 (3)文芸系事業 ・ 公募自分史「おくりもの」	幅広い芸術文化事業を展開し、市民に文化芸術の鑑賞機会を提供できた。	○
地域に身近な会場での鑑賞・交流機会の提供 【文化・生涯学習課】	身近な場所で文化芸術が鑑賞でき、交流できる機会を提供するため、小学校の体育館でのコンサートなどを開催する。	かすがい市民文化財団主催「かすがいどこでもアート・ドア」を実施し、各ジャンルのアーティストを市内の保育園や公民館等に派遣した。音楽部門だけでなく、日本舞踊、落語も実施。 派遣アーティスト13組28名 実施回数 11回（12回中止）	学校や保育園、市内施設など身近な場所で文化芸術を鑑賞でき、交流できる機会を、未就学児から一般まで幅広い世代に提供した。	○
近隣美術館などとの連携の推進 【文化・生涯学習課】	近隣自治体にある美術館などとの連携を推進し、より展覧会などを鑑賞しやすくする事業を実施する。	かすがい熟年大学の芸術文化コースにおいて、近隣美術館の学芸員等に講師を依頼する予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、熟年大学を中止した。	—	—

(2) 文化芸術に関する学習機会の充実（文化芸術活動に気軽に参加し活動のきっかけづくりとなる講座や学ぶ機会の充実を図る。）

事業名	事業概要	令和2年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
<p>【新規】 わ〜く書っぷ 【文化・生涯学習課】 ※令和2年度より、あ〜とふるマイタウンより移行して実施</p>	<p>地域の身近な場所で文化芸術に親しめるよう、書家を地域の集会所や公民館に派遣する。</p>	<p>書に触れる機会を提供するとともに、それぞれの地域の身近な場所において書に親しんでいただくため、市内外で活躍する書家を派遣する「わ〜く書っぷ」を実施した。 ・面白いで「書」（原田凍谷）2回中止 ・大きな筆で大きな文字を書こう（武内峰敏）1回（1回中止） ・雅印を作ろう（小川大樸）2回</p>	<p>書を身近な場所で体験・鑑賞でき、交流できる機会を提供した。</p>	○
<p>かすがい文化フェスティバル 【文化・生涯学習課（かすがい市民文化財団）】</p>	<p>次代を担う子どもたちが茶道、華道、日本舞踊等の伝統文化を始めとしたさまざまな文化に親しみ、身近に体験できる講座を開催する。</p>	<p>かすがい文化フェスティバル2020 【スペシャルDAY】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 【夏休みワークショップ】 謎解きゲームin市民会館 参加者：74人 新型コロナウイルス感染拡大防止のため一部中止 【夕涼みシネマ】 8月15日（土） 1回上映 参加者：106人</p>	<p>市民会館の舞台裏などを体験し、施設への理解を深めてもらう良い機会となった。</p>	○
<p>市民美術展覧会 【文化・生涯学習課】</p>	<p>市民の作品発表と鑑賞の機会を提供するため、日本画、洋画、書、彫塑工芸、写真の部門での公募展を開催する。</p>	<p>市民の美術作品の発表と鑑賞の場を設けることにより、市民の美術文化の向上を図った。 展 示：8月15日（土）～23日（日） 募集部門：日本画（水墨画を含む）、洋画（油彩・水彩・版画等）、書（篆刻・刻字を含む）、彫塑工芸、写真 出品数：計619点 鑑賞者数：6,700人以上 ※新型コロナウイルス感染症拡大を防止し、広く鑑賞の機会を提供するため、VR展を開催（2,267アクセス）</p>	<p>市民の作品発表と鑑賞の機会を提供した。VR展を開催することで、作品に親しむ機会を提供できた。</p>	○

(3) 特色ある文化の推進（書道文化、自分史の普及・振興を図る。）

事業名	事業概要	令和2年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
道風展 【文化・生涯学習課】	春日井市で生まれたと伝えられ、三跡の筆頭として日本書道史上に大きな足跡を残した小野道風の偉業をたたえる、全国公募の書の展覧会を開催する。	本市に誕生伝説が残る平安時代の書聖・小野道風の偉業を讃えるとともに「書のまち春日井」を全国発信し、書道文化の振興を図る目的で全国公募の書道展を開催した。 春日井展：10月25日（日）～11月3日（火・祝） 表彰式：11月3日（火・祝） VR展：10月31日（土）～12月5日（日） 学生半紙の部巡回展：11月8日（月）～12月5日（日） JR春日井駅自由通路展示コーナー 一般部巡回展：11月下旬から、グルッポふじとう、西部ふれあいセンター、市庁舎 募集部門：一般部 第1部漢字、第2部かな、第3部近代詩文、第4部少字数、第5部小品、学生部 半紙、条幅 応募点数：一般部336点、学生部5,735点、計6,071点	応募点数は昨年を上回り、VR展も1,800件以上のアクセスがあった。	◎
書に関する作品の展示 【道風記念館】	全国的にも数少ない書専門の美術館である道風記念館において、収蔵品や他施設から借用したさまざまな書作品・書関係資料を展示する。	書に関する様々な展覧会を開催した。（新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月11日～6月1日、1月18日～2月22日休館） (1)特別展：「王朝文学と古筆切」 2月11日～5月16日 (2)企画展：「おののとうふう～和様の書のうつりかわり～」 7月17日～8月30日 「龍門造像記」 12月4日～1月17日 (3)館蔵品展：「つづけ書きの妙」4月22日～7月12日 「書の魅力」9月4日～11月29日 (4)第39回道風の書臨書作品展：1月9日～17日	特別展「王朝文学と古筆切」では、平安・鎌倉時代の貴重な古筆を展示した。特に日本文学界へのPRに力を入れた。新型コロナウイルスの影響は大きかったが、日本文学研究者等遠方からの来館があった。	○
自分史作品の公募 【文化・生涯学習課 （かすがい市民文化財団）】	全国から出版物の寄贈を受け入れるとともに、作品公募事業を実施し、優れた作品を冊子にまとめるなど自分史作品を収集する。	自分史活動の振興と春日井市のPRを図り、短編の自分史作品を公募し、作品集を製作した。新型コロナウイルス感染症が広がる中、自由に人と会えない状況下で「誰か」や「相手」を想う自分史を募り、作品集を刊行した。 テーマ：「おくりもの」 公募数：202作品 作品集への掲載数：37作品	昨年と同程度の応募があった。	○

(4) 郷土文化の継承及び文化財保護意識の啓発（歴史や文化財への関心を高めるとともに郷土の文化財や伝統文化の保護、保存、活用を図る。）

事業名	事業概要	令和2年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
内津文化財祭 【文化財課】	文化財保護への理解を深めるとともに啓発を図るため、内々神社が所蔵する文化財の公開等を行う内津文化財祭を開催する。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	—	—
郷土芸能出前講座 【文化財課】	地域の郷土芸能保存会を小学校に招き、模範演技の披露や体験・練習・発表を通して郷土芸能の保存・伝承について考える機会を提供する。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	—	—

成果指標と目標値

成果指標	現状値	目標値		実績値
	2016年度	2021年度	2026年度	2020年度
文化芸術活動をしている人の割合	14.5%	20.0%	25.0%	2021年度に測定

施策の評価

達成度（掲載事業数 11）		評価
◎ 全般的に想定した以上の成果が得られた。	1	新型コロナウイルスの影響により、ホール等会場へ出向いての鑑賞の機会は激減したが、VR展や動画配信などの手法により芸術鑑賞の機会が提供できている。アクセス数も伸びており、今後もより多くの人が文化・芸術に親しめる機会の創出に期待する。
○ 全般的に、概ね想定した成果が得られた。	7	
△ 想定した目標に到達できなかったところがあった。	0	
× 全般的に想定した目標に到達できなかった。	0	
— 評価なし	3	

基本目標 3 学んだ成果を生かせる仕組みづくり

施策 3-1 地域の担い手となる人材の発掘及び育成

(1) 指導者となりうる人材の育成（地域における学習活動の活性化を図り、リーダー、ボランティアとなる人材の育成と人材の発掘を図る。）

事業名	事業概要	令和2年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
地域をささえる人づくり講座 【市民活動推進課】	区・町内会・自治会を中心とした地域活動が安定的かつ継続的に行われるよう、地域リーダーを育成する講座を実施する。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	—	—
春日井安全アカデミー 【市民安全課】	地域の安全について自ら考えて行動し、提言できる地域のリーダーを育成する春日井安全アカデミーを開催する。	(1)春日井安全アカデミー 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 (2)安全・安心まちづくりポニター養成講座 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	—	—
ヘルスマイト養成講座 【健康増進課】	地域において、食を通じた健康づくり活動を自主的に行う食生活改善推進員（ヘルスマイト）を養成する講座を実施する。	食生活改善推進員（ヘルスマイト）を養成する講座を実施した。 実施回数：6回（2回中止） 養成人数：11人	ヘルスマイトを養成することができた。	○
まなびゃ選科（サイト）への講師登録 【文化・生涯学習課】	自分の知識や技能を他者に教えたい人と学びたい人を結びつけるため、講師を希望する人をサイトに登録することを促進する。	講師登録件数：296人（うち新規登録17人） アクセス件数：26,207件（前年度37,374件）	インターネットを通じて情報提供することができた。	○

(2) ボランティアの育成（地域における学習活動の活性化を図り、リーダー、ボランティアとなる人材の育成と人材の発掘を図る。）

事業名	事業概要	令和2年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
グルッポふじとうにおける地域住民サポーター事業 【ニュータウン創生課】	高蔵寺まなびと交流センターにおいて「地域住民サポーター」を募集し、地域住民との積極的な協働による施設運営を目指す。	地域住民サポーター登録数 125人 活動内容：花壇の手入れ ・毎日の水やり ・花の植え替え（花壇コンクール（春日井市主催）に出場）	住民協働による施設運営を行うことができ、地域住民の繋がりの場となった。	○
健康マイスター養成講座 【健康増進課】	健康に関する正しい知識を持つ「健康マイスター」の養成講座を開催し、修了者のうち、希望者はボランティアとして、市などが実施する健康づくり事業に参加する。	実施期間：9月16日～3月24日 会場：総合保健医療センター、保健センター、落合公園 養成人数：27人 講座数：10講座 市の健康事情、ボランティア活動の実際（講話）、生活習慣病予防について・ロコモ予防運動（講話・実技）、健康づくりの運動・体力測定、体組成検査、結果説明（講話・測定）、食生活を考える・感染症予防と手洗い（講話・実技）など	健康マイスターを養成することができた。	○
人材育成セミナー 【市民活動支援センター】	ボランティアや市民活動で活躍する人材を育成するため、人材育成セミナーを実施する。	(1)市民ニーズに合った講座を開催し、市民活動を担う人材を育成した。 ・青少年ボランティアスクール 新型コロナウイルス感染防止のため中止 ・オトナのボランティアスクール 受講者 延べ36人 (2)市民活動団体のニーズに合った講座を開催し、団体を担う人材を育成した。 ・かすがい市民活動情報サイトサポート 利用者 6人 ・組織力アップセミナー 受講者 28人 ・情報サイト活用講座 受講者 7人 ・WEBミーティング講座 受講者 26人 ※資金獲得セミナー、会計セミナーは、新型コロナウイルス感染防止のため中止	新たにWEBミーティング講座を実施し、団体のニーズに対応することができた。	○

情報紙「ささえ愛」 【市民活動支援センター】	市民活動の情報を提供するため、市内で活躍している市民活動団体の紹介や団体が実施するイベント情報を掲載した情報誌を発行する。	市内の市民活動の情報と市民活動支援センターのPRを目的とした情報紙「ささえ愛」を発行した。 発行部数：2,000部 発行回数：4回 情報紙配布先：市内公共施設、市内小中学校、市内高等学校、中部大学、春日井市社会福祉協議会、愛知県、他市市民活動支援センター、春日井郵便局、大垣共立銀行春日井支店等	市内で活躍する市民活動団体の紹介や団体が実施するイベント情報を掲載した情報を周知できた。	○
---------------------------	---	---	--	---

成果指標と目標値

成果指標	現状値	目標値		実績値
	2016年度	2021年度	2026年度	2020年度
生涯学習情報サイトに登録されている講師者数	232人	260人	290人	294人

施策の評価

達成度（掲載事業数 8）		評価
◎ 全般的に想定した以上の成果が得られた。	0	各分野のリーダー、ボランティアの人材育成が図られている。これらの人が、地域や団体活動のリーダー、ボランティアとして活躍することにより、人と人とのつながりが生まれ、地域が活性化していくことを期待する。
○ 全般的に、概ね想定した成果が得られた。	6	
△ 想定した目標に到達できなかったところがあった。	0	
× 全般的に想定した目標に到達できなかった。	0	
— 評価なし	2	

施策3-2 学習成果を生かす機会の充実

(1) 学習成果を発表する機会の提供（日頃の学習成果を出し合うとともに、相互交流に繋がるよう、学習成果を発表する機会の充実を図る。）

事業名	事業概要	令和2年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
公民館まつり 【公民館】	公民館で活動する団体が日頃の活動の成果を発表及び展示する機会として開催する。	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため芸能発表会は中止し、活動団体の作品展示のみ実施した。 ・中央公民館では、公民館まつりにかわり、活動団体の様子を動画で撮影し、YouTubeで配信した。 ・動画配信による成果発表会を計画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休館となり、撮影ができず中止した。（知多・鷹来・坂下公民館） 	撮影ができず実施には至らなかったが、WEB上で成果発表の場を検討し、今後につなげる機会を得ることができた。	○
レディヤン祭 【男女共同参画課】	レディヤンかすがいを活動拠点としている利用団体が団体活動の発表を通して交流と親睦を図るとともに、男女共同参画と青少年活動を広く市民に啓発するため、レディヤン祭を開催する。	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</p> <p>代替企画としてレディヤンかすがいで活動団体の紹介展示を行った。</p>	活動の様子を紹介する機会を設けた。	○
ハーモニーフェスティバル 【青年の家】	ハーモニー春日井の利用団体が、楽器演奏などの練習成果の発表を通じて団体相互の親睦と地域住民等との交流を図るため、フェスティバルを開催する。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	—	—

(2) 市民自らが企画した講座の開催（市民が学習で得た知識や技術を生かせるよう市民が主体となった生涯学習の推進を図る。）

事業名	事業概要	令和2年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
講師発掘・登用事業 【文化・生涯学習課】	さまざまな知識や技術を持った市民を募集し、応募者自らが企画した講座の講師として活躍する場を提供する。また、登用した講師を市主催講座で積極的に活用する。	応募件数：14件 採用件数：9件 実施数：6講座（3講座中止） 実施講座：はじめての親子リトミック、初心者のための子宮美人ヨガ、ハートフルエクササイズ♪ ほか 受講者数：89人	市民が知識・技術を生かすことができる機会を提供できた。	○
出前公民館講座 【文化・生涯学習課】	市民に身近な場所での学習機会の充実を図るため、講師発掘・登用事業で採用した講師経験者等を講師として、地域の集会施設で講座を開催する。	実施数：6講座 申請団体：地区社会福祉協議会、子ども会 実施講座：ココロとカラダにやさしいヨガ、楽しくパルーンアートを作ろう！ ほか 受講者数：111人	新型コロナウイルス感染防止のため、申請件数は減少したが、市民が講師を務め、身近な場所での学習機会の充実を図ることができた。	○
かすがい市民大学 （仮称） 【文化・生涯学習課】	市民が講師、学生、運営者となり市民主導の学習機会の場となるかすがい市民大学（仮称）の創設について検討する。	実施なし	先進事例等の調査・研究を進めるとともに、運営を担うことができる人材の発掘、育成についても検討を行う必要がある。	×

成果指標と目標値

成果指標	現状値	目標値		実績値
	2016年度	2021年度	2026年度	2020年度
公民館まつりの参加団体数	153団体	170団体	185団体	—

施策の評価

達成度（掲載事業数 6）		評価
◎ 全般的に想定した以上の成果が得られた。	0	新型コロナウイルスの影響で中止となった事業の代替案として、インターネットによる配信が検討された。配信には至らなかったが、新たな手法により学習成果の発表の場ができることは、学習意欲の向上や生きがいにつながる。一人ひとりが生き生きと活躍できる機会が創出できるとよい。
○ 全般的に、概ね想定した成果が得られた。	4	
△ 想定した目標に到達できなかつたところがあった。	0	
× 全般的に想定した目標に到達できなかつた。	1	
— 評価なし	1	

施策 3-3 学習成果を生かしたまちづくりの推進

(1) 防犯、防災など安全と安心に関する学習機会の充実（防犯・防災意識や交通安全意識の啓発、応急手当等に関する知識や技術を身につける学習機会の充実を図る。）

事業名	事業概要	令和2年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
総合防災訓練 【市民安全課】	地震災害に対する参加機関との相互協力体制を確立するとともに、市民の防災意識を高めるため、防災訓練を実施する。	新型コロナウイルス感染症対策を講じた避難所運営訓練や感染症患者、濃厚接触者などが搬送された際のトリアージ訓練の実施、ドローンによる被害情報の収集及び伝達訓練を実施した。 日 時：8月30日(日)午前8時30分～10時30分 会 場：中央公園グラウンド 参加人数：約300人	新型コロナウイルス感染症の感染拡大リスクを考慮して規模を縮小し、市と一部の防災関係機関での実施となったが、関係機関と連携して訓練を行うことができた。	○

交通安全教室 【市民安全課】	交通安全意識を向上させ交通マナーを身に付けるため、幼児から高齢者まで、それぞれの発達段階やライフスタイルに合わせた体験・実践型の交通安全教室を実施する。	市内での交通事故減少を目指し、各年齢層に応じて、交通安全の基本となるルール、マナーの指導を行う交通安全教室を開催した。 実施回数 小学校交通安全教室 6回 幼児交通安全教室 13回 高齢者交通安全教室 (中止) 地域等における交通安全教室 2回 合計 21回	地域における交通安全教室に防災と防犯の内容を加え、広く安全安心について学ぶ機会を提供することができた。	○
水防訓練 【河川排水課】	河川の決壊等の水害を想定し、水防技術の向上と水防体制の充実、市民の水防に対する意識を高めるため、水防訓練を実施する。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、住民参加による訓練は中止。 市役所各課による活動内容確認訓練とした。	市職員の防災に対する意識を高めることができた。	○

(2) 住民主体による地域課題の解決に向けた学習の支援（住民自らが地域課題に取り組み課題解決の担い手となるよう支援する。）

事業名	事業概要	令和2年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
地域のやる気応援事業 【市民活動推進課】	地域課題の共有と解決策を検討するワークショップの開催を支援し、解決策の実施に係る費用の一部を区・町内会・自治会に対して補助する。	1団体から申し込みがあり、市が講師を派遣するワークショップを開催し、事業を実施した。	住民自らが地域課題について話し合いを行い、課題解決に向けた事業を行うことができた。	○
生涯学習まちづくり 出前講座 【文化・生涯学習課】	市民等により構成される団体の依頼に応じ、市職員を地域の集会施設等に派遣し、行政情報や施策に関する講座を実施する。	実施数：2講座 申請団体：自治会、老人クラブ 実施講座：健康管理について、上下水道管理について 受講者数：76人	市民に身近な場所で、市の行政情報や施策について学ぶ場を提供できた。	○

成果指標と目標値

成果指標	現状値	目標値		実績値
	2016年度	2021年度	2026年度	2020年度
学習活動を通じて身に付けた知識・技能を、地域でのまちづくりや地域の活性化のために生かしたい人の割合	7.2%	9.5%	12.0%	2021年度に測定

施策の評価

達成度（掲載事業数 5）		評価
◎ 全般的に想定した以上の成果が得られた。	0	防災訓練等は、新型コロナウイルス感染症の影響で規模は縮小されたが、関係機関との連携や個々の役割を再確認するうえで有意義なものとなっている。今後も、防災のみならず、地域住民が主体となって自分の住む地域の課題に取り組み、地域づくりが行えるような支援に期待する。
○ 全般的に、概ね想定した成果が得られた。	5	
△ 想定した目標に到達できなかったところがあった。	0	
× 全般的に想定した目標に到達できなかった。	0	
— 評価なし	0	

基本目標 4 学びを豊かにする環境づくり

施策 4-1 身近な生涯学習関連施設の充実

(1) 市民が利用しやすい施設の運営（市民にとって利用しやすい施設の運営を図る。）

事業名	事業概要	令和2年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
施設予約システム 【文化・生涯学習課】	インターネットで施設の空き状況の検索や利用予約等ができる施設予約システムにより、利便性の向上を図る。	インターネットを利用してスポーツ施設や文化施設の予約ができるあいち共同利用型施設予約システムを利用することで、施設利用者の利便性の向上を図った。 導入施設数：22施設	施設の窓口に行かなくても予約ができる環境を提供できた。	○
託児付き講座 【文化・生涯学習課】	小さい子どもがいる人も講座に参加できるよう、託児付き講座の充実を図る。	大学連携講座 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	—	—
託児付き講座 【公民館・ふれあいセンター】	小さい子どもがいる人も講座に参加できるよう、託児付き講座の充実を図る。	(1)公民館 実施数：2講座 実施講座：ナチュラルで今どき顔になれる美眉レッスン、ママフォトグラファーと子どもを撮ろうほか 受講者数：13人（託児7人） (2)ふれあいセンター 味美ふれあいセンターにて、参加者以外の子どもの同伴を可とする講座を6講座実施した。	小さい子どもがいる人にも参加しやすい学習の機会を提供できた。 託児だけでなく、「参加者以外の子ども同伴可」とする講座も実施したことで、「子どもと同室にいられるため常に子どもに目が行き届き、安心して受講することができた」との感想が得られた。	○
託児付き講座 【男女共同参画課】	小さい子どもがいる人も講座に参加できるよう、託児付き講座の充実を図る。	実施数：2講座 実施講座：スッキリ快適！住まいの整理術、怒りの感情と上手に向き合うためのアンガーマネジメント 受講者数：43人（託児8人）	市民ニーズへの対応ができた。	○

社会教育事業連絡調整会議 【文化・生涯学習課】	各公民館、ふれあいセンター等の機能の充実を目指し、各施設における課題等を共有し、課題解決のための協議を行う。	各公民館、各ふれあいセンターの機能を充実させ、施設間の情報共有を図るため、社会教育事業連絡調整会議を実施した。 実施数：11回	各施設の課題を共有し、自館の問題として解決策を検討することで、各施設の意識向上を図り、利用者の利便性の向上を図ることができた。	○
----------------------------	--	--	---	---

(2) 施設の有効活用（市民や団体が学習活動を行う場を提供する。）

事業名	事業概要	令和2年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
旧藤山台東小学校施設整備 【ニュータウン創生課】	旧藤山台東小学校施設を、図書館や児童館、地域包括支援センター、コミュニティカフェ等の機能を有する地域の拠点施設として整備する。	平成30年4月に多世代交流拠点施設「高蔵寺まなびと交流センター（グルッポふじとう）」を開所した。 ・高蔵寺まちづくり株式会社（指定管理者）による管理運営の実施 ・駐車場の拡幅、遊具広場の整備を実施	複合機能を持つ多世代交流拠点施設として、当施設内において各世代の交流が生まれている。駐車場の拡幅により利用者の利便性、駐車場の安全性が向上した。また、遊具広場には、複合遊具、大屋根等を設置し、親子連れや幅広い年齢の児童が楽しめる広場となった。	○
東部市民センター施設活用 【東部市民センター】	東部市民センター図書室の移転後の活用について、音楽や軽運動ができる目的別のスペースを確保し、多様な機能を有する地域の拠点施設として整備する。	セミコンサート室、第1・2音楽室、第1・2軽運動室、多目的室を整備し、平成31年2月にリニューアルオープンした。 東部市民センター内の大垣共立銀行スペース跡地の改修を行い、令和2年から託児スペースとして利用した。	さらに幅広く利用できる環境を整備した。	○
学校体育施設の開放 【スポーツ課】	市民の健康増進や体力の向上を図るため、スポーツ活動の場として市内の小中学校体育館、中学校武道場及び県立学校体育施設を学校教育に支障のない範囲で開放する。	市立小中学校及び県立学校の体育施設を、学校教育に支障のない範囲で地域住民等に開放することにより、市民の健康の保持増進・体力の向上を図った。 ※新型コロナウイルス感染防止のため休止期間あり (1)県立学校体育施設開放 開放校：県立春日井高等学校 始め7校の校庭 利用者数：60人	学校体育施設を活用し、市民の健康の保持増進、体力の向上の場を提供できた。	○

		(2)小中学校体育施設開放 開放校数：小中学校52校の体育館及び中学校15校の武道場 利用者数：61,742人		
松原学習センター 【文化・生涯学習課】	地域住民の生涯学習活動やコミュニティ活動の推進を図るため、松原小学校の余裕教室を活用し、施設の貸館や生涯学習指導員による講座を実施する。	小学校の空き教室を整備し、松原中学校区の住民を対象に講座を実施した。小学校敷地内の施設であるため、児童との接触を避けるため、土日のみの講座の開催とした。貸館は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、利用を休止した。 登録団体：10団体 利用件数：42件 利用者数：743人 講座数：15講座 実施講座：脳トレ!!なんでもチャレンジ、アナログレコードを楽しもう、楽しく描こう大人の塗り絵ほか 受講者数：323人	地域住民に対し、学びの場を提供できた。	○
小学校余裕教室の開放 【文化・生涯学習課】	市民の生涯学習活動の推進とコミュニティの育成に寄与するため、白山小学校、牛山小学校、石尾台小学校の余裕教室を地域の団体に開放する。	子育て支援団体や生涯学習活動団体に空き教室を開放することとしているが、新型コロナウイルス感染防止のため、利用を休止した。 登録団体数：白山小学校：1団体 牛山小学校：1団体 石尾台小学校：3団体	—	—
※新規 スタディールーム 【文化・生涯学習課】	公民館、ふれあいセンター等の空き室を有効活用し、学習室として開放することで中高生の自主学習を支援する。	実施施設：中央公民館、知多公民館、鷹来公民館、坂下公民館、味美ふれあいセンター、高蔵寺ふれあいセンター、南部ふれあいセンター、西部ふれあいセンター、東部市民センター、レディヤンかすがい 利用可能日：学校の長期休業期間及び土曜日、日曜日、祝日の午前9時から午後5時まで 利用できる人：市内在住、在学の中学生、高校生 利用人数：5,613人	中高生の自主学習の支援ができた。アンケート調査で概ね好評を得ている。	○

(3) 施設の適切な維持管理（安全で快適な施設環境の充実を図る。）

事業名	事業概要	令和2年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
計画的な修繕 【公民館、ふれあいセンター等】	施設の定期的な点検を行い、劣化状況等を把握するとともに、施設保全計画に基づき、計画的な修繕を実施する。	高蔵寺ふれあいセンターエレベーター改修工事 南部ふれあいセンターエレベーター改修工事 西部ふれあいセンター外壁改修工事 鷹来公民館実習室外装改修工事 坂下公民館冷温水発生機取替工事 坂下公民館非常通報装置取替工事 青少年女性センターエレベーター改修工事 ほか	個別施設計画に沿って施設改修等を適切に実施し、快適に施設を利用できるよう環境整備を行った。	○

成果指標と目標値

成果指標	現状値	目標値		実績値
	2016年度	2021年度	2026年度	2020年度
公民館及びふれあいセンターなどの利用者数	545,177人	548,500人	552,000人	259,390人

施策の評価

達成度（掲載事業数 11）	評価
◎ 全般的に想定した以上の成果が得られた。	スタディールームは若い世代が施設を利用するきっかけにもなり、今後の施設の利用につながることを期待される。世代を問わず気軽に利用できるような環境整備が求められる。新型コロナウイルスの影響により多くの施設が長期にわたり利用を休止したり、利用制限を設けたり、通常の利用ができない状況が続いている。通常に戻った時に、これまで以上に利用者に親しまれる施設となるよう、より安全で快適な施設環境の充実を望む。
○ 全般的に、概ね想定した成果が得られた。	
△ 想定した目標に到達できなかったところがあった。	
× 全般的に想定した目標に到達できなかった。	
— 評価なし	

施策 4-2 自主的な学習活動への支援

(1) 図書館・図書室の充実（市民の自主的・自発的な学習活動を活性化する。）

事業名	事業概要	令和2年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
図書資料の充実 【図書館】	利用者のニーズに応じた図書資料の充実に努めるとともに、地域性や利用者ニーズ等を配慮した排架に努め、利用しやすい環境を整えます。	市民のニーズ、社会情勢の変化に対応し、幅広い分野から資料選定を行い、図書館（室）の資料の継続的な充実を図った。 図書の蔵書数 春日井市図書館 598,954冊 高蔵寺まなびと交流センター図書館 75,404冊 味美ふれあいセンター始め9図書室 105,038冊 合計 779,396冊 (2,565冊増)	地域性のある特色を持った蔵書構成となるよう留意し、郷土や書道に関する資料については積極的に収集を行った。 また、各図書室の資料の充実を図った。	○
ティーンズサービスの充実 【図書館】 ※事業名変更	中学生・高校生（10代）の利用促進を図るため、TC（ティーンズコーナー）通信を発行するとともに、中学生・高校生の意見を取り入れながらサービスの充実を図る。	・TC（ティーンズコーナー）通信発行 年6回 ・TC蔵書の拡充 R1年度末5,430冊→R2年度末5,484冊 ・10代の未来さがし講座(小学5・6年生～中学生向け読書講座) 「夢をかなえる本の読み方～もしも、この世に本がなかったら」 日時：令和2年11月3日（祝） 場所：文化フォーラム春日井 参加者数：児童・生徒14名、保護者11名	10代の未来さがし講座の受講対象者を中学生限定から小学5～6年生にも広げ、保護者の聴講を可としたことから、参加者が増加した。保護者にも10代の読書の重要性を啓発することができた。	○

(2) ICTを活用した学習の推進（市民の自主的・自発的な学習活動を活性化する。）

事業名	事業概要	令和2年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
eラーニングの普及・啓発 【文化・生涯学習課】	忙しくて学習活動に取り組めない市民の学習機会の拡大に向け、いつでもどこでも学ぶことができるeラーニン	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した講座をYouTubeで配信した。また、自宅で学べるよう講座の資料やレシピ等をホームページで公開した。 味美ふれあいセンター： YOSHIE先生のマタニティ・ヨガ	自宅でも学べる機会を提供できた。	○

	グの普及・啓発を図る。	ホテルプラザ勝川シェフのとおきスイーツレシピ 東部公民館：Mieu風西尾抹茶の生チョコレートを作ろう 坂下公民館：脳が活性化する！楽しい大人の塗り絵講座 キッズのお菓子作り講座～母の日の贈り物 徒然草を読み直す		
遠隔生涯学習講座の導入 【文化・生涯学習課】	コンピューターネットワークを活用し、講座が開催される会場まで来ることが困難な方でも、別会場で同一の内容の講座が受けられる仕組みづくりを検討する。	実施なし	市民ニーズの把握を行い、先進事例、情報機器等の情報を収集し、研究を進める。	×

(3) 生涯学習活動団体への活動支援（地域の活力向上や市民の多様な学習活動の活性化を図る。）

事業名	事業概要	令和2年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価																		
生涯学習活動団体への支援 【公民館・ふれあいセンター】	一定の要件を充たした生涯学習に関する事業及び活動を行う団体を認定することで、公民館等の使用料を減免するとともに、団体同士の交流を促進する。	生涯学習活動団体等 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>公民館</td> <td>266団体</td> <td>4,079人</td> </tr> <tr> <td>ふれあいセンター</td> <td>190団体</td> <td>2,818人</td> </tr> <tr> <td>青年の家</td> <td>64団体</td> <td>749人</td> </tr> <tr> <td>市民活動支援センター</td> <td>16団体</td> <td>202人</td> </tr> <tr> <td>レディヤンかすがい</td> <td>142団体</td> <td>5,321人</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td style="text-align: center;">13,169人</td> </tr> </table> <p>使用料減免のほか、PRポスターを掲示するなど、活動を支援した。 活動の様子をYouTubeで紹介した。(中央公民館)</p>	公民館	266団体	4,079人	ふれあいセンター	190団体	2,818人	青年の家	64団体	749人	市民活動支援センター	16団体	202人	レディヤンかすがい	142団体	5,321人			13,169人	これまでのポスター等によるPRに加え、活動の様子をYouTubeで配信することで、活動の支援ができた。	○
公民館	266団体	4,079人																				
ふれあいセンター	190団体	2,818人																				
青年の家	64団体	749人																				
市民活動支援センター	16団体	202人																				
レディヤンかすがい	142団体	5,321人																				
		13,169人																				

文化スポーツイベント補助金 【スポーツ課】	個人及び文化・スポーツ活動団体が、全国的規模で開催する公演の実施や全国的規模のスポーツ大会に出場した際等に、補助金を交付する。	スポーツの振興及び競技力の向上を図るため、国際大会・全国大会に出場した選手に文化スポーツイベント補助金を交付した。 ・国際大会出場補助：個人 0件、団体 0件 ・全国大会出場補助：個人 22件、団体 6件 ・全国大会開催補助 1件（第30回全国高等学校剣道選抜大会）	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため全国大会等が中止されることが多く、全国大会等への出場者も減少したが、全国的規模で開催する大会の実施や全国的規模のスポーツ大会への出場等を支援した。	○
文化スポーツイベント補助金 【文化・生涯学習課】	個人及び文化・スポーツ活動団体が、全国的規模で開催する公演の実施や全国的規模のスポーツ大会に出場した際等に、補助金を交付する。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全国大会が中止になるなどの影響もあり、交付申請がなかった。 ・文化的事業の開催 0件 ・国内での文化事業参加 0件 ・国際文化交流事業 0件	—	—
春日井市スポーツ協会運営費補助金 【スポーツ課】	スポーツ協会の運営や、学校区体育振興会を含む加盟団体の育成、各加盟団体が行うスポーツ教室等の助成を通して地域のスポーツ振興を図るため、スポーツ協会に補助金を交付する。	スポーツ協会の運営及び加盟40団体を育成し、各競技団体が行うスポーツ教室等を助成し、スポーツの振興を図った。 (1)市民体育大会総合開会式 (開会式は新型コロナウイルス感染防止のため中止) 優秀表彰 個人23人 団体4団体 一般表彰 個人8人 (2)各競技団体が行う事業 スポーツ教室、選手派遣及び育成事業、団体主催事業 ほか	感染対策を講じながら、各加盟団体への助成・支援を行った。	○

成果指標と目標値

成果指標	現状値	目標値		実績値
	2016年度	2021年度	2026年度	2020年度
生涯学習活動団体の会員数	14,868人	15,000人	15,000人	13,169人

施策の評価

達成度（掲載事業数 8）		評価
◎ 全般的に想定した以上の成果が得られた。	0	ICTの活用は、市民の学習機会を広げるものとして有効な取り組みの一つである。いつでも、どこでも気軽に生涯学習を進められるよう、動画配信などの手法による講座についても、さらに研究を進められたい。 団体への活動支援は、より多くの市民が生涯学習に取り組むことができるよう支援の継続に期待する。
○ 全般的に、概ね想定した成果が得られた。	6	
△ 想定した目標に到達できなかったところがあった。	0	
× 全般的に想定した目標に到達できなかった。	1	
— 評価なし	1	

施策 4-3 関係機関とのネットワークの構築

(1) 大学や企業などとの連携強化（市民の学習ニーズに対応し、様々な学習活動を総合的・体系的に推進するため、高等教育機関、民間団体、企業、近隣自治体とのネットワークの強化を図る。）

事業名	事業概要	令和2年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己 評価
大学連携講座 【文化・生涯学習課】	市民の多様化する学習ニーズに応えるため、大学が持つ優れた人材と設備を活用し、高度な内容の講座を実施する。	中部大学や名古屋工業大学と連携し講座を実施した。 実施数：2講座 実施講座：現代建築はどのようにつくられてきたのか、 喫茶文化と住まいの様式 ほか 受講者数：69人	近隣の大学との連携により、学びの機会を提供できた。	○

<p>民間団体・企業との連携 【公民館・ふれあいセンター】</p>	<p>民間団体や企業が持つ知識やノウハウを活用するため、講座への講師として派遣を要請するなど連携を図る。</p>	<p>(1)公民館 実施数：21講座（13講座中止） 実施講座：めざせオリンピック！？親子で楽しい体育遊び、はじめての資産形成～あなたはトウシますか？、購入前に、聞いて納得！触って安心！ndroidスマホ講座 ほか 受講者数：1,308人 連携先：NPO法人けやきフォーラム、(株)ラポール、ソフトバンク ほか</p> <p>(2)ふれあいセンター 実施数：11講座（7講座中止） 実施講座：ワンランクアップ！おいしいコーヒーの入れ方講座、ホテルプラザ勝川シェフの料理教室、緑のカーテン育成講座ほか 受講者数：400人 連携先：ホテルプラザ勝川、尾張中央農協 ほか</p>	<p>地元企業が講師となる講座を企画することで、地元企業との連携をさらに強めることができた。</p>	<p>○</p>
---------------------------------------	--	--	--	----------

(2) 近隣自治体との連携強化（市民の学習ニーズに対応し、様々な学習活動を総合的・体系的に推進するため、高等教育機関、民間団体、企業、近隣自治体とのネットワークの強化を図る。）

事業名	事業概要	令和2年度の実施内容・実績	事業実施の成果 特記事項	自己評価
<p>愛日社会教育担当者連絡会 【文化・生涯学習課】</p>	<p>近隣市町との連携や情報共有を図るため、小牧市や瀬戸市を始め 11 市町で構成された愛日社会教育担当者連絡会に参加する。</p>	<p>愛日社会教育担当者連絡会に参加し、情報交換を行った。 5月：名古屋市三の丸庁舎 8月、1月：書面開催</p>	<p>担当者の見識を深めるとともに、生涯学習の課題等について情報交換を行うことができた。</p>	<p>○</p>

成果指標と目標値

成果指標	現状値	目標値		実績値
	2016年度	2021年度	2026年度	2020年度
大学連携講座の講座数	17講座	20講座	24講座	2講座

施策の評価

達成度（掲載事業数 3）		評価
◎ 全般的に想定した以上の成果が得られた。	0	行政と大学、民間企業、NPO 法人など、それぞれが有する施設・設備、人材、情報、ノウハウ等の特色を生かし、補い合いながら組み合わせていくことでさらに多様な学習機会の提供ができる。より充実した事業展開を期待する。
○ 全般的に、概ね想定した成果が得られた。	3	
△ 想定した目標に到達できなかったところがあった。	0	
× 全般的に想定した目標に到達できなかった。	0	
— 評価なし	0	

◆推進計画全体（計画期間3年目）の評価

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、多くの事業が中止となったが、中止となったものの代替えとしてインターネットでの配信など工夫して事業を実施したのも見られ評価できる。集まることができなくなることで、学びの場、学習成果の発表の場が少なくなり、これまでの学びや活動が途絶えてしまうことがないよう、継続した学習支援が望まれる。

また、テレワークの推進などにより、時間の使い方や活動の範囲も大きな変革を迎えている。新たなことに挑戦したいという意欲のある人に向け、ともに学び合い、つながり合うことができるような生涯学習環境の整備に努められたい。